

全日本少年剣道錬成会館



〈平成 29 年度〉

第 56 回 全国選抜少年剣道合宿錬成会

期 間 平成 29 年 4 月 1 日(土) ～ 4 月 4 日(火)
(3 泊 4 日)

場 所 〒191-0053 東京都日野市豊田4丁目 46 番 61 号

全日本少年剣道錬成会館

TEL 0 4 2 - 5 8 1 - 6 8 3 3

FAX 0 4 2 - 5 8 1 - 6 8 5 9



主 催 一般財団法人 全日本剣道道場連盟

Supported by  日本財団 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

(本事業は競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施します。)

全道連の活動(説明)

「少年合宿」は「全道連の活動」の数多い行事の中でも、重要な行事の一つとして行われているものです。

- ① 平成29年の第56回全国選抜少年剣道合宿錬成会は、4月1日(土)から4日間実施します。今皆さんが参加している、この『合宿』です。
- ② 各都道府県道場少年剣道大会(全国大会予選)は、皆さんも知っている行事です。
- ③ 毎年夏に、日本武道館で全国道場少年剣道大会が開催されています。本年は7月25日・26日に決定しました。
- ④ 剣道少年団研修会(体験発表・書道展)は、都道府県毎に9月～12月にかけて実施。
- ⑤ 全国道場少年剣道選手権大会(小・中学生 男・女の部)・全国道場対抗剣道大会
宮城(第35回 10月8日)
- ⑥ 剣道少年団表彰・団員表彰 (平成30年1月)
- ⑦ 日本剣道少年団研修会(体験発表・書道展)全国大会
明治大学 リバティタワー(第40回 平成30年2月25日)予定

以上は、少年の皆さんに直接関係のある行事ですが、その他にも指導者を対象として剣道指導者研修会(年2回)・居合道講習会などが行われています。また、全国の道場で稽古をしている、大人の女性にも目を向け、『レディース剣道大会』の開催や『女子剣道稽古会』なども計画しています。

これらの行事は、ほとんどが日本財団からの『助成金』によって賄われています。

合宿の目的

全日本剣道道場連盟は、この合宿錬成で、剣士の皆さんに剣道への興味を更に高めてもらい、技能の向上は勿論、学習意欲にも反映して、剣道も勉強もよく出来る青少年になってもらいたい、という期待からこの合宿を実施しています。

全国より選抜された皆さんを、剣道指導に精通した講師が懇切丁寧に指導しますので、皆さんも真剣に学ぶとともに節度のある合宿生活を送り、新しい友情の輪を築くことに努めて下さい。

講師指導担当

月日	時間	担当講師	内 容	摘 要
4月1日(土)	午後	2:30~2:50	全講師 開講式	事務局 太田専務理事
		2:50~4:30	宇賀講師 ①着装、礼法、構え、間合い、足さばき ②基本打突(切り返しなど) ③相互練習	
4月2日(日)	午前	9:00~9:50	檜崎講師 講 話	
		10:00~12:00	田中講師 木刀による剣道基本技稽古法	
	午後	2:00~4:30	宇賀講師 ①基本打突(前日の復習) ②打ち込み、掛け稽古	
4月3日(月)	午前	9:00~12:00	田中講師 ①しかけ技、応じ技 ②相互練習	
	午後	2:00~4:30	全講師 試合練習と総復習	
4月4日(火)	午前	6:30~7:30	全講師 指導、相互練習	
		7:30~7:50	全講師 閉講式	修了証授与

生活・時間割表

時間	4月1日(土)	4月2日(日)	4月3日(月)	4月4日(火)
AM 6:30		6:30	6:30	6:30 起床・点呼
7:00		7:00 起床・点呼・体操・掃除	7:00 起床・点呼・体操・掃除	7:00 研 修 6:30 ~ 7:30
30		30	30	30 閉講式
8:00		8:00 朝 食	8:00 朝 食	8:00
30		30 自由時間	30 自由時間	30
9:00		9:00 剣道講話 9:00 ~ 9:50	9:00	9:00 朝 食
30		30 木刀による 剣道基本技稽古法 10:00 ~ 12:00	30 研 修 9:00 ~ 12:00	30
10:00		10:00	10:00	10:00 後片付け 掃除
30		30	30	30
11:00		11:00	11:00	11:00 解 散
30		30	30	30
PM 12:00		12:00	12:00	12:00
30		30 昼 食	30 昼 食	30
1:00		1:00 休 養	1:00 休 養	1:00
30		30	30	30
2:00	2:00 集合・室割 オリエンテーション 2:30 開講式	2:00	2:00	2:00
30		30	30	30
3:00	研 修 2:50 ~ 4:30	3:00 研 修 2:00 ~ 4:30	3:00 研 修 2:00 ~ 4:30	3:00
30		30	30	30
4:00		4:00	4:00	4:00
30		30	30	30
5:00		5:00	5:00	5:00
30	入 浴 (部屋別)	30 入 浴 (部屋別)	30 入 浴 (部屋別)	30
6:00		6:00	6:00	6:00
30		30	30	30
7:00	夕 食 6:40 ~ 7:20	7:00 夕 食 6:40 ~ 7:20	7:00 夕 食 6:40 ~ 7:20	7:00
30		30	30	30
8:00	自由時間 (日記・体験文を書く)	8:00 自由時間 (日記・体験文を書く)	8:00 自由時間 (日記・体験文を書く)	8:00
30		30	30	30
9:00	掃 除	9:00 掃 除	9:00 掃 除	9:00
30	点 呼	30 点 呼	30 点 呼	30
10:00	消灯・就寝	10:00 消灯・就寝	10:00 消灯・就寝	10:00

合宿錬成の要点 (大切なことがら)

第1章 合宿生活について

規律を守り、協力調和の心を持って、広く交流の輪を創る。

- イ. 時間の厳守 ロ. 挨拶・返事の励行 ハ. 部屋の整理・整頓
- ニ. 履物(トイレ・下足)の整理・整頓 ホ. 迅速な動作・行動

第2章 剣道の学び方

① 剣道を学ぶ目的

正しい剣道の技術を身につけて、物事の考えを正しく、偏らずに判断出来る。

健全な心と、健康で活動出来る力をもった体を創るのが目的です。

『清く・正しく・遅しく』

② 剣道を学ぶ心がけ

剣道を真剣に学び、稽古では技術の向上を考え、気力を養い、礼儀を大切に、
真心で広く交流して、将来は人類の平和の為に貢献できる社会人になれるよう努める。

第3章 剣道の捉え方

① 基本が第一

基本と言えば、技のことだけではなく、剣道具の着け方や礼儀も、基本動作と同じ「基本」と考えて、大切にすることです。

「自分は、基本などは知っている」と思うのは、大きな間違いであって上達すれば

「基本」を大切にしながら稽古することです。

② 基本動作(正面打ち・切り返し)

基本動作で姿勢(無理のない姿勢・自然体)や構え・目付や足さばきを順序によって稽古してきたと思いますが、次の段階に進んでの「打ち方」の中で、正面打ち・切り返しは、上級者の剣道にも大切な修練課題なのです。又「切り返し」を見れば、その人の「技能の程度」が判るとまで言われている位に、大切なものです。

この合宿では、「正面打ち・切り返し」を徹底して修練し、自分の剣道を見直す機会にしよう。

第4章 上達への秘訣

① 基本と人間づくり

稽古では基本を守り、反省しながら、反復練習することです。

基本稽古は、単調なので飽き易く、早く試合をしてみたいと思いがちです。それを「忍耐強く」「辛抱強く」頑張って練習することが、上達への最善の秘訣です。

この「忍耐強く」「辛抱強く」稽古を重ねることが、君の将来に役立つ、『人間作りの土台』(基礎)になることも覚えておこう。

② 稽古の心得

イ. 稽古の前の準備運動は、自分の技能を最大限に発揮させてくれます。

ロ. 自分の健康状態は、自身が一番よく知っている。無理はしない。

特に合宿中は、食事や環境による体調の変化があるものです。異常があれば、直ちに講師へ申し出て下さい。

日頃から、食事や休養にも、留意する習慣が大切でしょう。

ハ. 剣道は、「勝つ」ことだけが目的ではない事を自覚して稽古を続けよう。

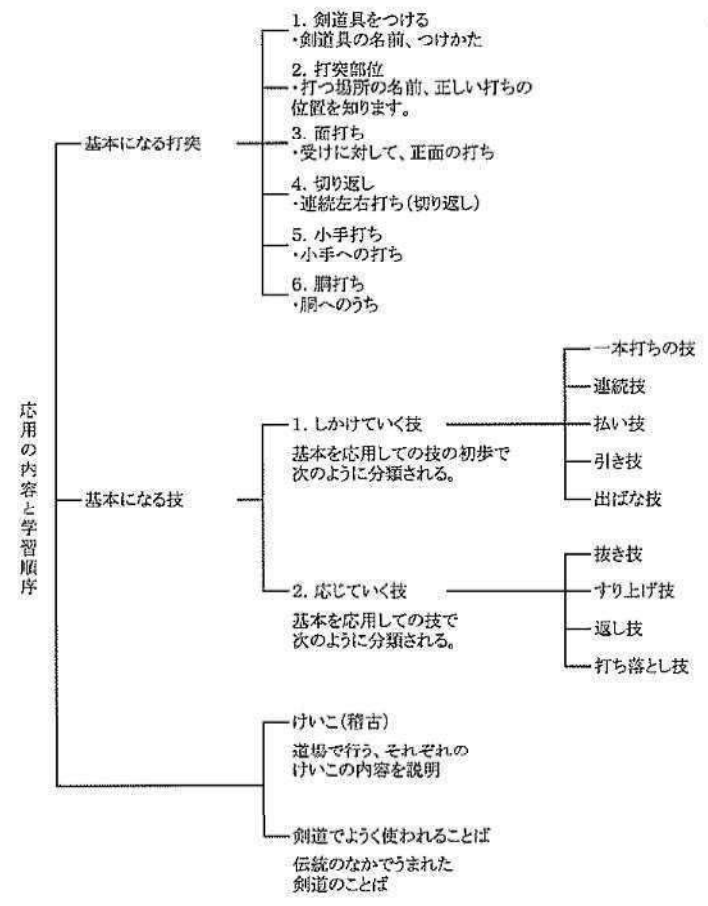
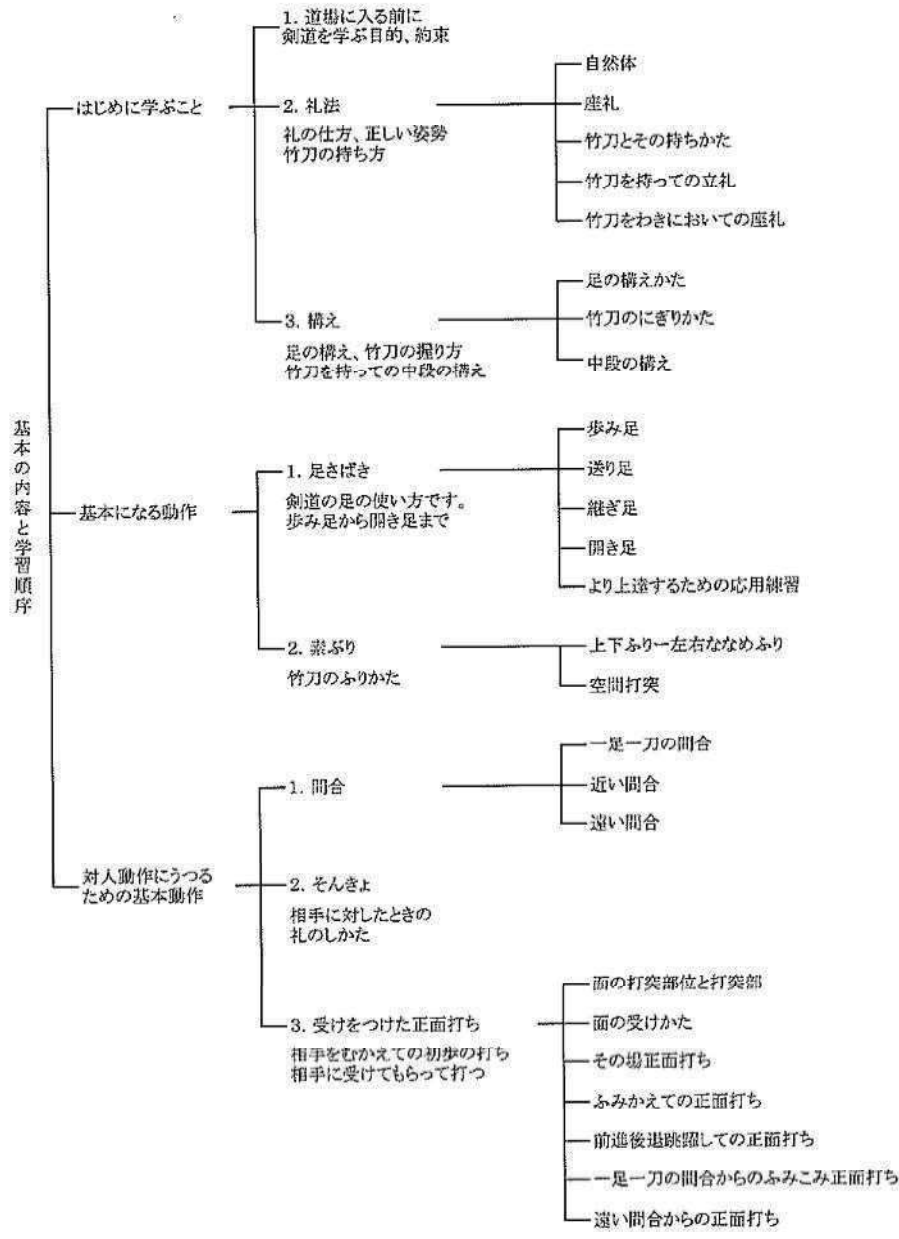
稽古を続ける中で、剣道で教えられる事が、沢山出てきます。それが剣道の「特性」と言うものです。この合宿で「特性」を一つでも、多く持って帰れるように努力して下さい。

ニ. 安全を心掛けるのは、剣道をする人の常識です。自分は勿論のこと相手にも、怪我などで迷惑をかけた気がいらないことを忘れないことです。

ホ. 剣道で大切なのは、責任感です。自分の行動には責任をもって下さい。

(剣道少年団綱領)

第5章 学習内容



木刀による剣道基本技稽古法

構成

基本1	一本打ちの技	「正面」「小手」「胴(右)」「突き」
基本2	連続技(二・三段の技)	「小手→面」
基本3	払い技	「払い面(表)」
基本4	引き技(鑿ぜり合い)	「引き胴(右胴)」
基本5	抜き技	「面抜き胴(右胴)」
基本6	すり上げ技	「小手すり上げ面(裏)」
基本7	出ばな技	「出ばな小手」
基本8	返し技	「面返し胴(右胴)」
基本9	打ち落とし技	「胴(右胴)打ち落とし面」

分類	要点	例
しかけていく技	1. 一本打ちの技	攻めに対する、相手の剣先動きに応じて打つ一本打ち。 剣先が開く…面 剣先が上がる…小手 手元が上がる…胴 剣先が下がる…突き(基本技稽古法)
	2. 連続技	相手の注意をそらして、隙の出来た所を打つ。 小手⇒面・小手⇒胴・面⇒面⇒面⇒小手・面⇒胴・ 小手⇒面⇒面・小手⇒面⇒胴
	3. 払い技	相手の構えを崩して攻めて打つ。 払い面(表・裏) 払い落とし面 払い胴
	4. 引き技	引いて相手の体が伸びた所を打つ。 引き面 引き胴
	5. 出ばな技	相手が行動を起こした、その端を打つ。 出ばな面 出ばな小手
(かつぎ技・片手技・上段技・推き技は、指導対象としない)		
忘りにしていく技	1. 抜き技	相手の打突を「竹刀さばき」や「体さばき」で空を打たせて、その隙を打つ。 面抜き面 面抜き小手 面抜き胴(左・右) 小手抜き正面 小手抜き右面 小手抜き小手
	2. すり上げ技	相手の竹刀を「すり上げ」直ちに打つ。 面すりあげ面(表・裏) 面すりあげ小手(裏) 面すりあげ胴(右・左) 小手すりあげ面 小手すりあげ小手
	3. 返し技	相手の竹刀に応じた反対側に竹刀を返して打つ。 面返し面(左・右) 面返し胴(左・右) 面返し小手 小手返し面 小手返し小手 胴返し面
	4. 打ち落とし技	相手の打突を「体さばき」とともに打ち落とし、直ちに打つ。 面打ち落とし面 胴打ち落とし面 小手打ち落とし面 小手打ち落とし小手 胴打ち落とし胴(右)

第52回 全国道場少年剣道大会

ZENKOKU DOJO
SYONENKENDO TAIKAI

とき 平成29年 7月25日 小学生の部
7月26日 中学生の部

ところ 日本武道館

主催 一般財団法人全日本剣道道場連盟

特別後援：毎日新聞社

後援：スポーツ庁／内閣府／総務省／

日本財団／日本武道館／全日本剣道連盟

協賛：ライオン株式会社／羽田タートルサービス株式会社



大会式次第

7月25日

1	選手・役員集合	8:50
2	開会	9:00
3	国歌斉唱	
4	優勝旗・優勝杯返還	
5	大会会長挨拶	
6	来賓祝辞	
7	審判長注意	
8	選手宣誓	
9	体験・実践発表	
10	小学生団体戦（16試合場）	10:05～18:20
11	小学生表彰	18:25
12	閉会	18:40

7月26日

1	選手・役員集合	8:50
2	開会	9:00
3	国歌斉唱	
4	優勝旗・優勝杯返還	
5	大会会長挨拶	
6	来賓祝辞	
7	審判長注意	
8	選手宣誓	
9	体験・実践発表	
10	中学生団体戦（16試合場）	9:50～17:30
11	中学生表彰	17:35
12	閉会	17:50

表紙写真は株式会社フォトクリエイティブ様よりご提供頂きました。

第52回 全国道場少年剣道大会

『参加上の注意』

※出場者は必ず監督が引率し、事故防止並びに大会中選手の健康管理など、全ての責任を持って下さい。

※日本武道館における「席取り」について（1Fの観客席は1団体20席以内）

「席取り」が年々加熟している為、どんなに早く並ばれ、開場と同時に入場されても、1Fの観客席は1団体20席までとします。2F・3Fの観客席はこの限りではありませんが、剣道具等の荷物は座席の下に置くなど、必要数以上の占有はおやめ頂き、互譲の精神で皆さんが気持ち良く観戦できるよう、ご協力下さい。

開場と同時に館内になだれ込み、席取りに走り込むご父兄等が見受けられます。

事故の危険性がありますので必ず係員の指示に従い、整然とご入館下さい。

（貼り紙やシート類・ロープ・竹刀等で席を必要以上に独占するのは、厳に禁止です。）

また、前日よりテント等を持ち込み、泊まり込みをするような行為は、禁止とします。

そこでの事故・トラブル等は、一切責任を負いません。万一事故があった場合、大会が開催できなくなります。

※20席を超えて席を確保している団体については、本部役員より席の排除をさせていただきます。

1. 準備等について

- ① 出場する試合の確認は、【出場決定通知書】のエントリー部門・試合日・試合場をよくご確認下さい。
- ② 試合者の目印（紅白たすき）は、各自ご持参頂き着脱も行って下さい。
プログラムによるチーム番号の若い方を赤とします。
- ③ 試合者の名札は所属団体部分がチーム名（全道連登録名）と合致した、姓入りの明確に読み取れるものを使用して下さい。（全道連に「〇〇中学」で登録していない場合は「〇〇中」の名札は使用できません。）
- ④ 少年剣士会員章（ワッペン）は、試合参加証であり、また、傷害保険証です。
選手は、ワッペンを剣道着右上腕部に、必ずつけて参加して下さい。
- ⑤ 選手は本大会においてSSPシール貼付の竹刀を使用して下さい。
カーボン竹刀（樹脂製竹刀）は、今まで通り使用出来ます。
試合前、竹刀の検品は行いませんが、該当竹刀以外であれば、館内の売店もしくはアリーナ内に設けております「竹刀相談所」にて対応して下さい。
- ⑥ 選手の館内での履物について、大道場以外での館内外の裸足歩行は禁止されております。
スリッパ、運動靴等で移動をお願いします。また、紛失・盗難予防に、名入れ等、充分管理下さい。
- ⑦ 本大会ではオーダー表を使用致しません。
- ⑧ 入場行進は行いません。少年団旗は不要です。
- ⑨ 大会前日の会場内の下見、旗掛け、席取りはできません。また、両日共、物を置いておく事ができません。
両日共、完全撤去という形をとります。残された物は撤収し、遺失物として本部で預かります。

- ⑩ 開会式前、大道場での稽古は当日の選手以外はできません。
稽古をする場合は監督が責任を持って安全な環境を常に留意して指導して下さい。
この場合の事故について、本部は一切責任を負いません。
- ⑪ 各試合場、第1試合及び第2試合の各チームは、開会式終了後迅速に試合ができるよう、ご準備下さい。
試合順番の確認は当日配布するプログラム受領の後、直ちにご確認下さい。
- ⑫ 日本武道館宛に前もって剣道具等の荷物を送り届ける事はできません。
大会期間中、帰省先等に向けての宅配業者の窓口は設けてあります。（西口 横）

2. 受付等について

- ① 【出場決定通知書】により受付を致しますので、必ずご持参下さい。
- ② 他の日の試合の受付はできません。各日共、受付を行って下さい。
- ③ 受付は各日共、日本武道館西口において午前7時30分（予定）より行います。
- ④ 受付をする方のみ、該当受付場所にお越し下さい。（二重に受付をしないようご注意ください。）
- ⑤ 受付時に監督・選手数のプログラム、参加費と、監督証をお渡します。
- ⑥ 欠員・補充等の連絡は試合日当日、当該チームの第1試合開始までに各試合場をお願いします。
該当試合場の「選手変更届」用紙に記入頂き、審判主任又は試合場責任者の了承を得て下さい。

3. 開会式について

- ① 両日共、午前9時より開会式を行います。
- ② 選手は午前8時40分までに大道場に厨・垂着用の上、ご集合下さい。（面、小手、竹刀は式典中、必要ありません。）それ以降の大道場への入場は、式典の關係上ご遠慮頂きます。同時刻までの集合にご協力下さい。選手は必ず参列し、式典中に他の場所で練習など行う事のないように準備して下さい。
- ③ 開会式で国歌を斉唱致します。参加選手に歌唱するよう、ご指導をお願い致します。

4. 大道場内について

- ① 試合当日の選手、監督以外は大道場に入れませんので厳守下さい。監督は各日指定の監督証を必ず着用して下さい。
- ② 監督は1団体に1人の登録です。
- ③ 試合場間の通路（特に5試合場～12試合場の中央通路）は、試合に近いチームのみ出入りをお願いします。
- ④ 監督、選手は移動通路の確保にご協力下さるとともに、以後の試合がない場合、すみやかに観覧席にてご観戦下さい。
- ⑤ 選手待機場所での竹刀、面の取り扱いが問題になっております。「竹刀スタンド」等を用いて、会場内の整頓にご協力をお願いします。

5. 試合について

団体戦/小学生の部（7月25日）・中学生の部（7月26日）

- ① 試合は各試合場、トーナメント方式に依り、全日本剣道連盟 剣道試合・審判規則及び細則並びに、本大会要項、申し合わせ事項に従って行います。
- ② 試合時間は小学生2分、中学生2分30秒、3本勝負で行い、勝敗の決しない時は引き分けとします。

- ① 勝者数、総本数が同数の時は、任意選出による代表者戦によって勝敗を決します。代表者戦は1本勝負とし、時間は区切らず勝敗の決するまで行います。
- ② 「上段の構え」、「突き技」については、(公財)日本中学校体育連盟剣道部の申し合わせ事項に準じ禁止します。但し隻腕の場合は、事前に大会本部に連絡して下さい。
- ③ 試合場は規則より狭く設営してありますが、「場外」の反則は規則通り適用します。
- ④ 竹刀の基準は全日本剣道連盟の規則に従います。但し小学生は111cm(3尺6寸)以内とします。監督は責任をもって選手の竹刀が、試合ごとに適格かつ安全な竹刀であることを確認して下さい。
- ⑤ 今大会での「ブラック面金付き面」は使用できません。
- ⑥ 関係者一同、対戦相手を取り違えないよう充分ご注意ください。
- ⑦ 当該チームの第1試合開始までに事故者、病欠者等が出た場合の欠員補充は認めず。試合開始前までに、必ず該当試合場の「選手変更届」用紙に記入頂き、審判主任又は試合場責任者の了承を得て下さい。但し、オーダーの入れ替えは認めません。尚、試合が開始されてから事故者等が出た場合は欠員のままで行います。
- ⑧ 各試合場の1回戦目までにおいて、数回呼び出しても現れないチームがある場合は、次の試合を進めます。3試合を待ち、それまでに現れない場合は不在チームの不戦負けとします。その間、対戦チームはその場に待機して下さい。
- ⑨ 各試合場の2回戦目以降は、数回呼び出しても現れない場合は不在チームの負けとします。試合進行にご注意下さい。
- ⑩ 交通機関等の事情により、上記の時間以上、試合場到着が遅れる場合は、大会委員長又は大会総務委員長により判断致します。
- ⑪ 進行状況により試合場を変更する場合があります。場内アナウンスにご注意下さい。

6. 表彰について

- ① 各試合場(全16試合場)において上位4チーム(3位)までを順次、本部席横にて表彰します。準備が出来次第、アナウンスしますので、お集まり下さい。
- ② 決勝トーナメント以降 優勝～ベスト8(敢闘賞)までを表彰します。

7. その他 武道館利用についてなど

- ① ロビー、廊下及び駐車場での積古、素振り、日本武道館の内規で禁止となっています。遵守下さい。
- ② ロビー、廊下及びバルコニー等にシート類・ロープ等で陣を取ったり、そこで飲食をする事は禁止されています。
- ③ 旗・団旗等を掛ける場合、館内の空調口・案内板・非常口表示・方角表示場所・防犯カメラ等にかからないようご注意ください。妨げになっている場合、撤去、移動を願います。なお、2階南側にはすべて掛ける事はできません。
(日本武道館は3フロアから構築されていて、2階席から1階席にまた、1階席から大道場に大きな旗・団旗を掲げると試合進行及び観戦の妨げになる場合があります。配慮頂くとともに妨げになる場合は係員の指示で縮小、移動等して頂きます。)

- ④ 館外より持ち込んだ飲食物のゴミ類は、館内で捨てられません。お持ち帰り下さい。館内で購入した物のゴミは分別して指定の場所に捨てて下さい。
- ⑤ 館内及び館外は全面喫煙禁止(一部指定喫煙場所を除く)です。指定場所以外での喫煙は一切できません。ご協力下さい。
- ⑥ 館内の電気コンセントの使用はできません。また、館内の設備は大事に使用して下さい。
- ⑦ 日本武道館外(特に周辺)での事故が発生したことがあります。少年剣士が試合以外でも怪我をしないよう、また、子供たちだけで遊ばせないよう呉々もご注意ください。
- ⑧ 館内外(駐車場含む)の事故、盗難等に一切の責任を負いません。
- ⑨ 監督、選手、応援者は武道館前までのタクシーでの乗り入れはできません。科学技術館前で降車して下さい。
- ⑩ 本部に届けられた遺失物については大会期間中、本部席で預かります。確認下さい。大会終了後は6ヶ月間、事務局で保管します。お問い合わせ下さい。その後は処分させていただきます。
- ※ 館内には大会関係者以外も出入りしていますので、盗難には十分ご注意ください。
- ※ 主催者は大会中負傷疾病に対し応急手当をする他は一切の責任を負いません。試合者(選手)は少年剣士会員章(ワッペン)の傷害保険が適用されますので、万一、傷害が発生した場合、本部に届け出て下さい。

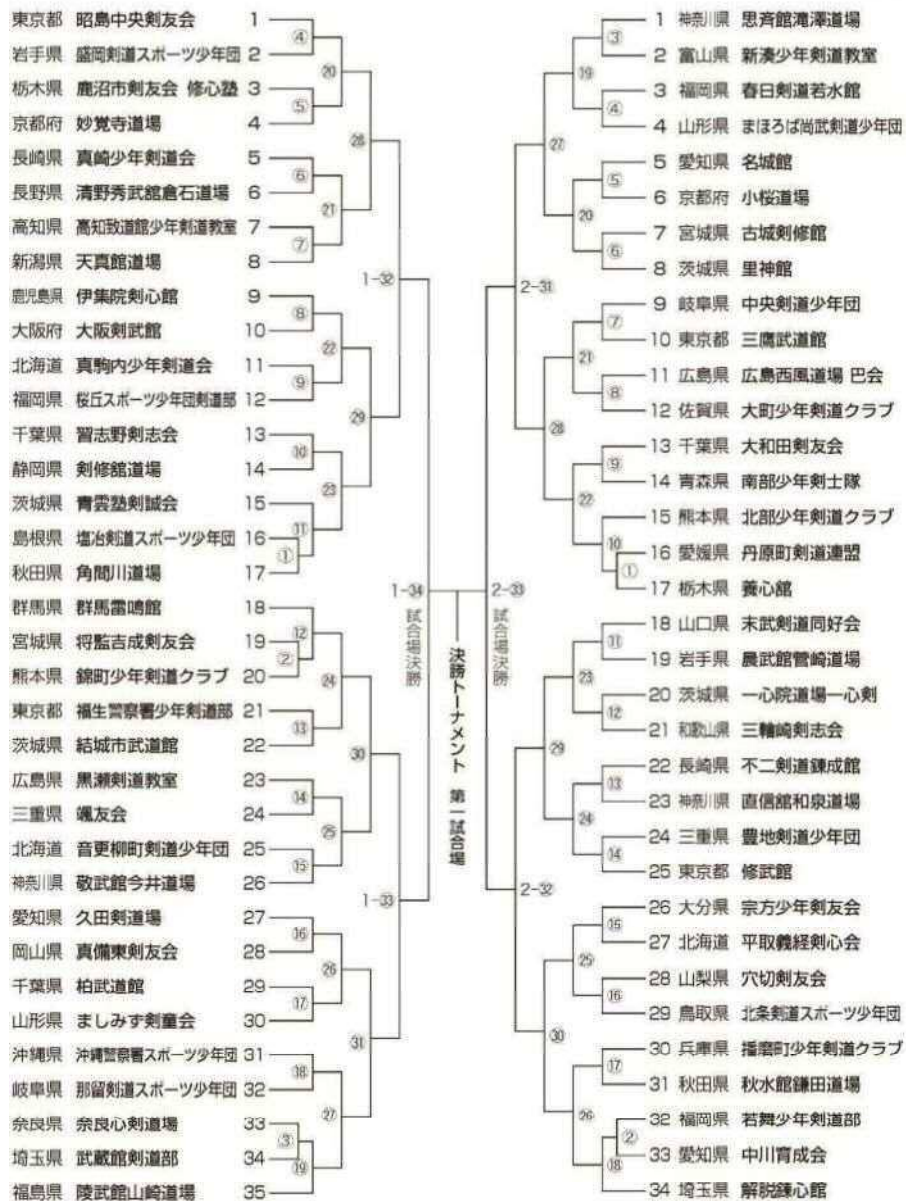
一般財団法人 全日本剣道道場連盟 <http://www.zendoren.org>
 公益財団法人 日本武道館 <http://www.nipponbudokan.or.jp>

〈大会が盛会かつ円滑に事故なく終了するよう ご協力をお願い致します〉

第1 試合場

小学生の部

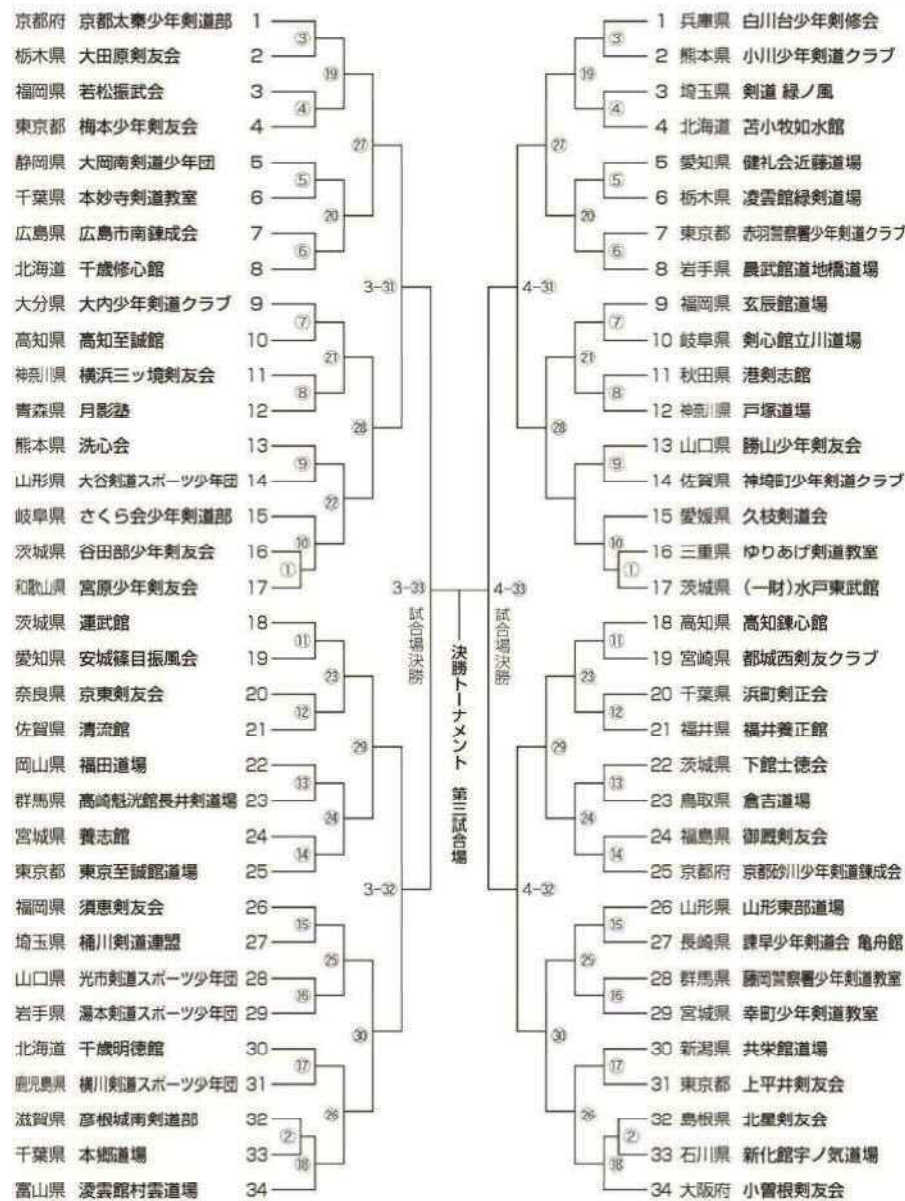
第2 試合場



第3 試合場

小学生の部

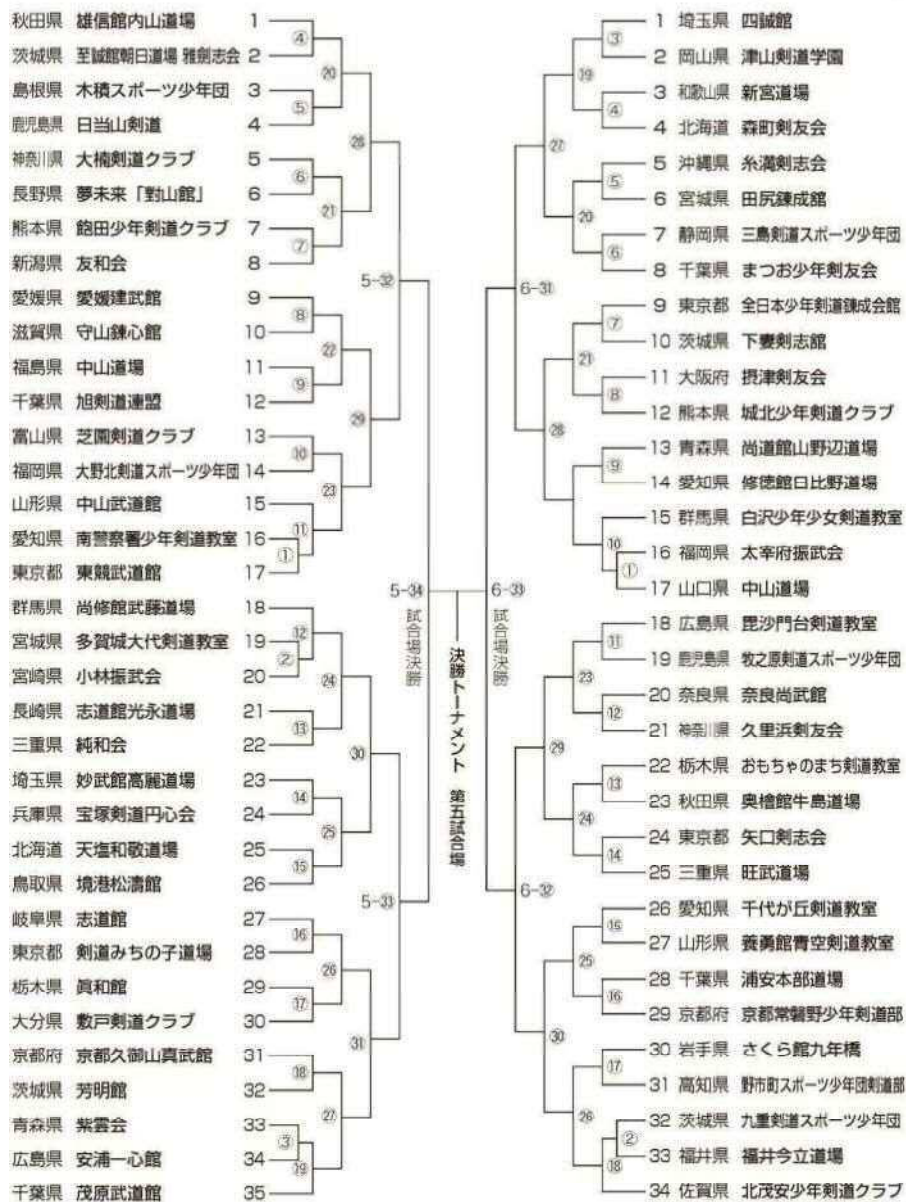
第4 試合場



第5 試合場

小学生の部

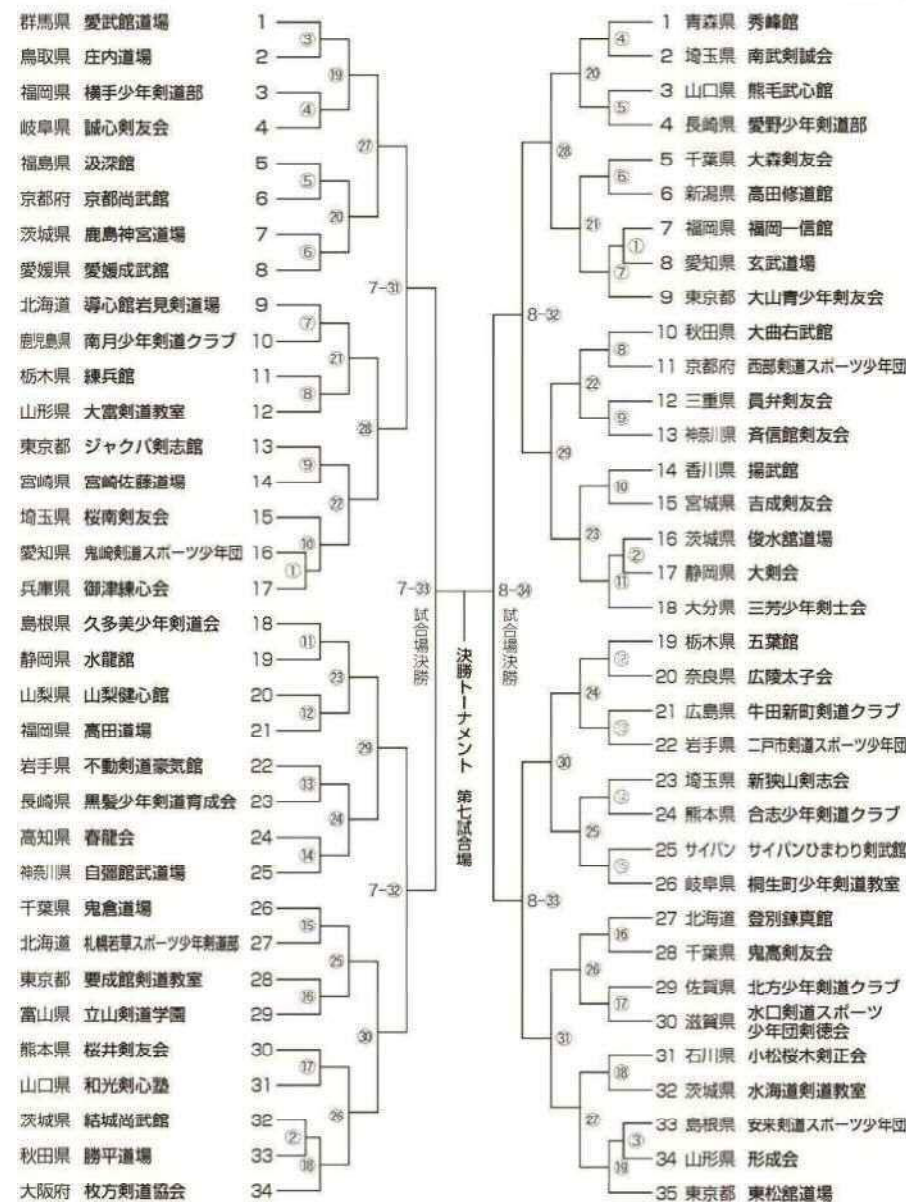
第6 試合場



第7 試合場

小学生の部

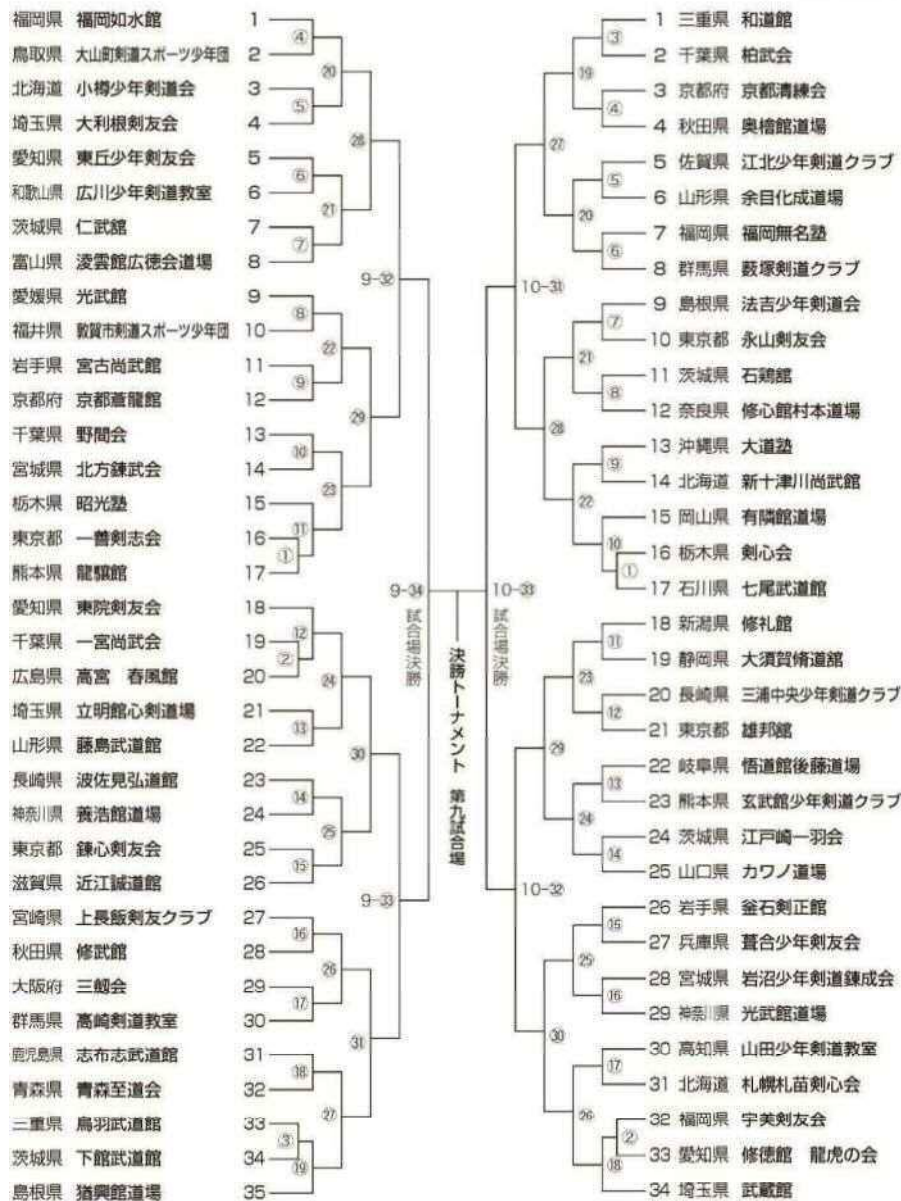
第8 試合場



第9試合場

小学生の部

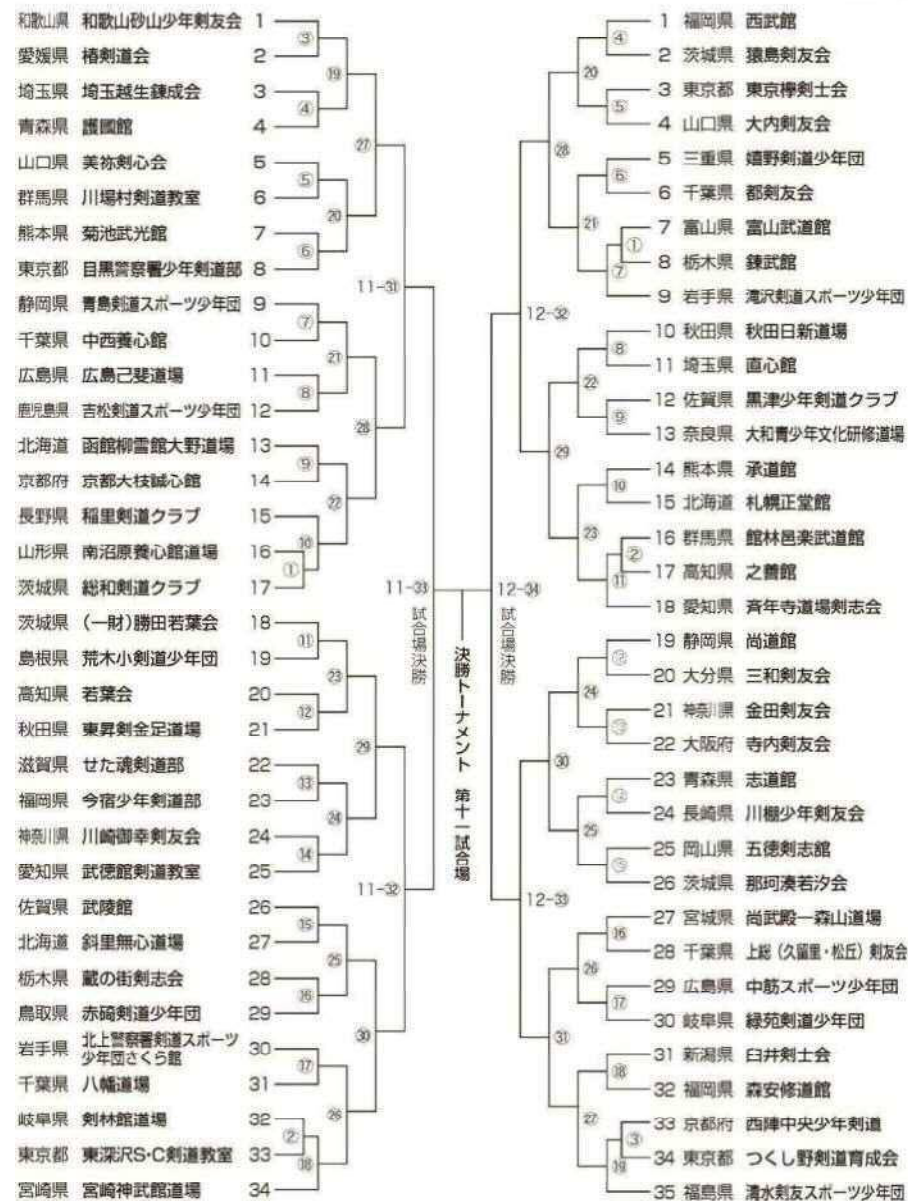
第10試合場



第11試合場

小学生の部

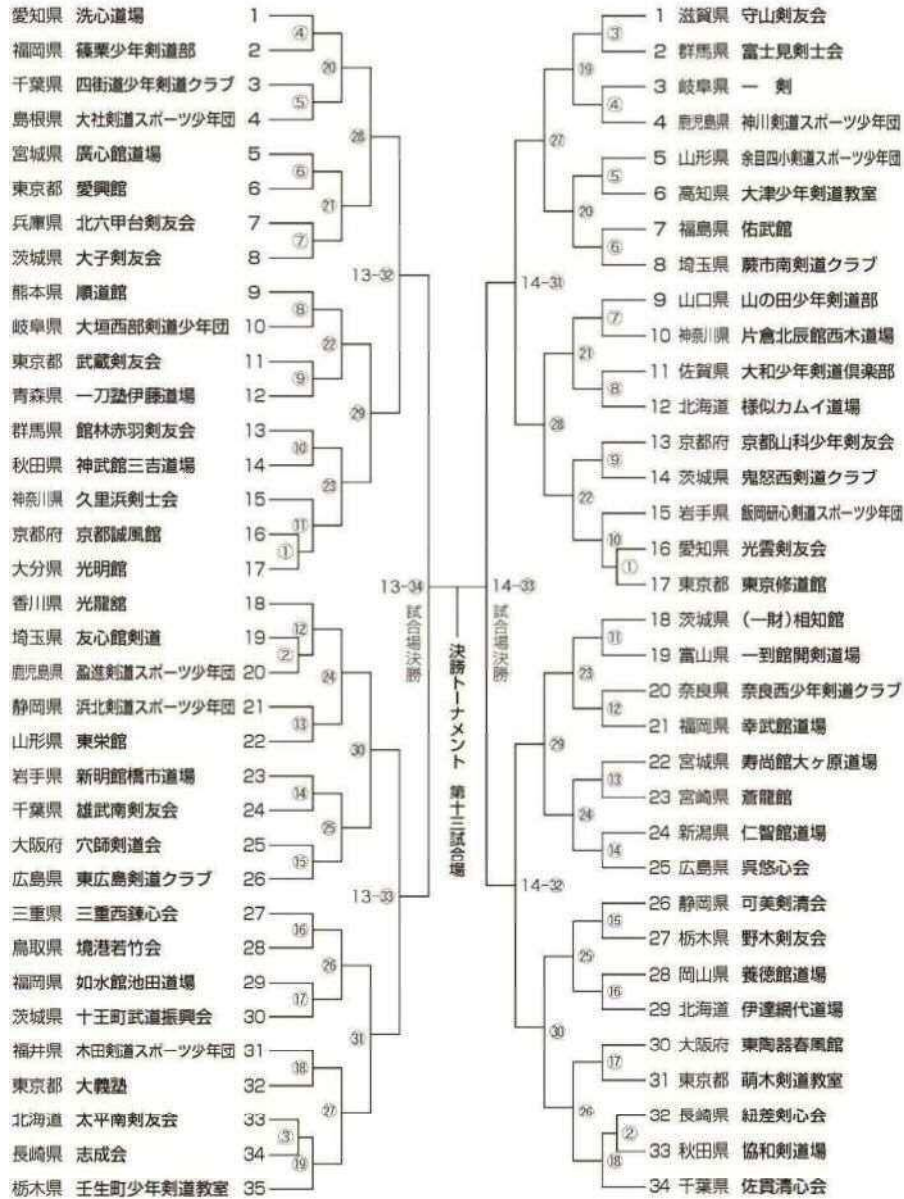
第12試合場



第13試合場

小学生の部

第14試合場



第15試合場

小学生の部

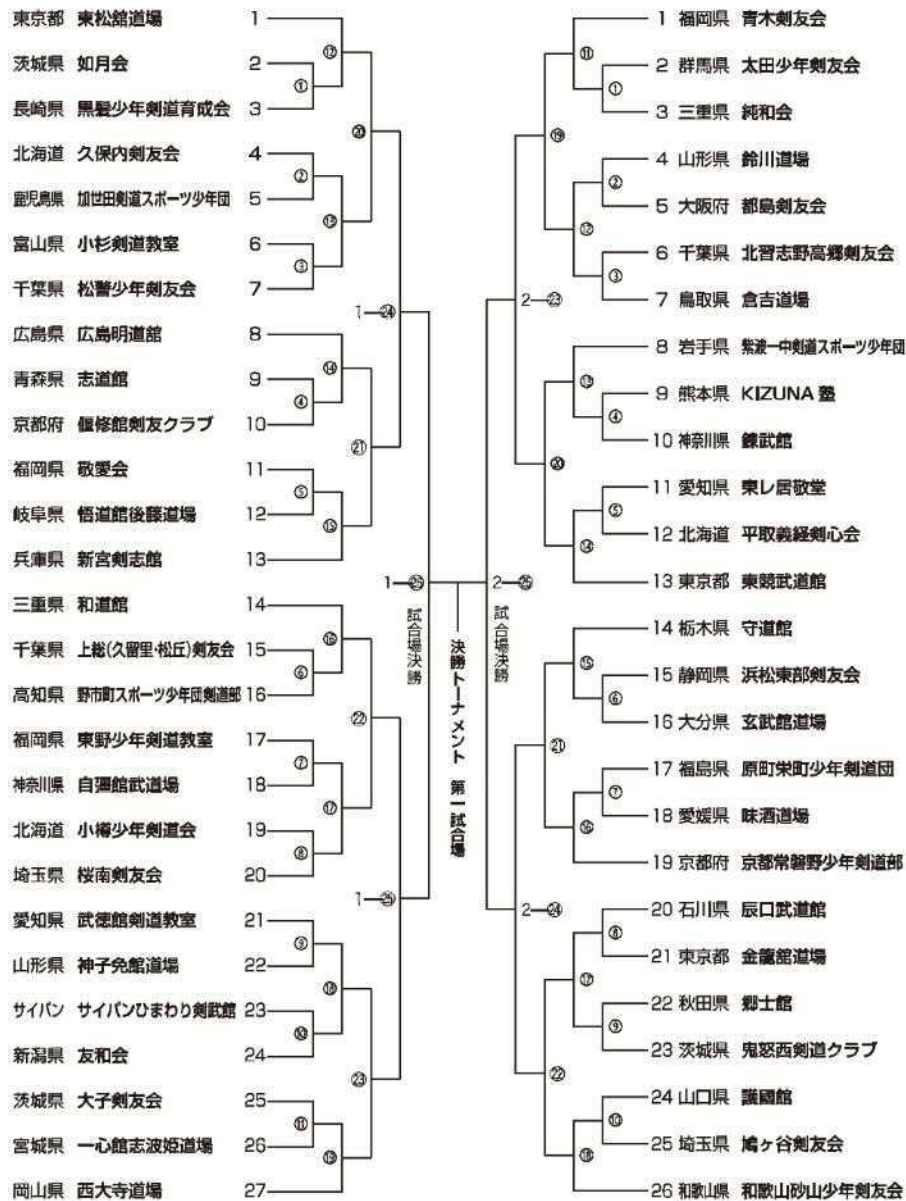
第16試合場



第1 試合場

中学生の部

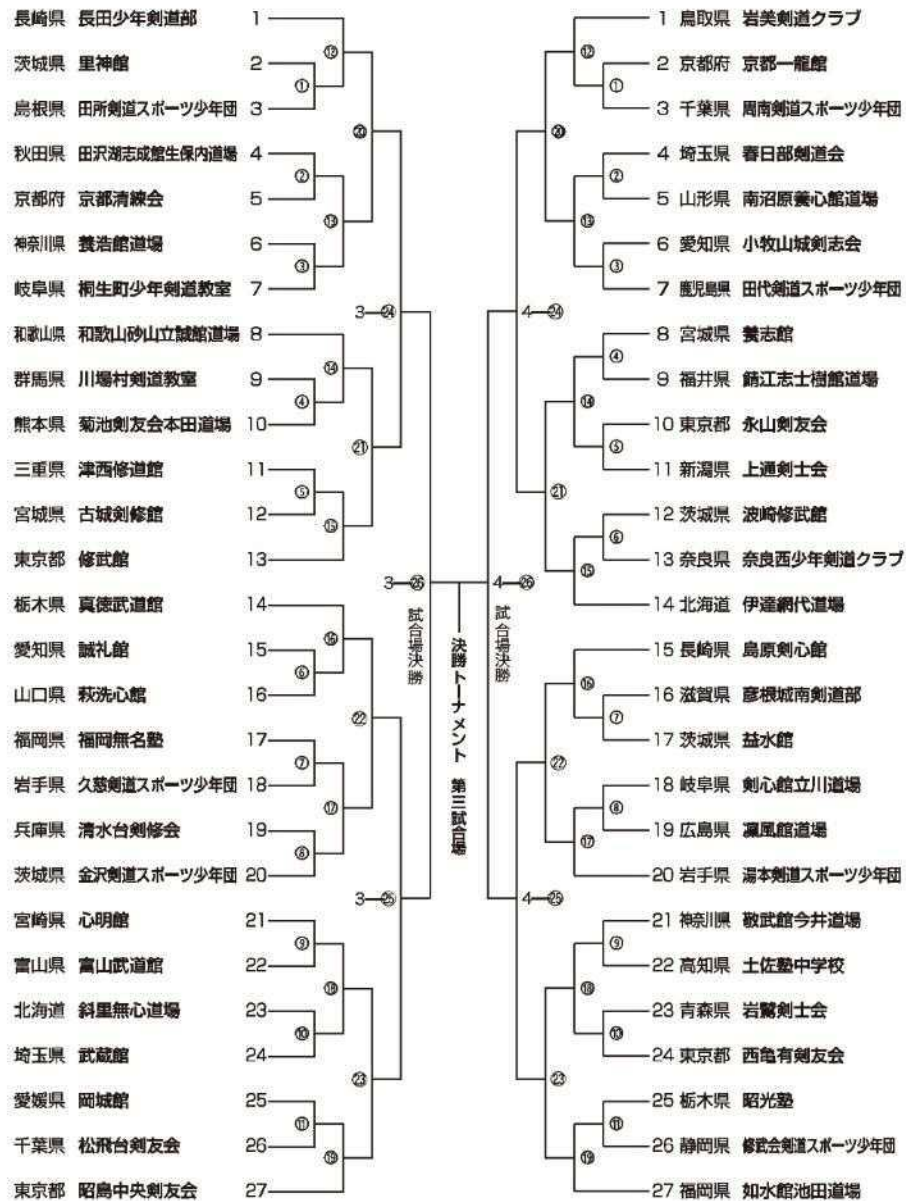
第2 試合場



第3 試合場

中学生の部

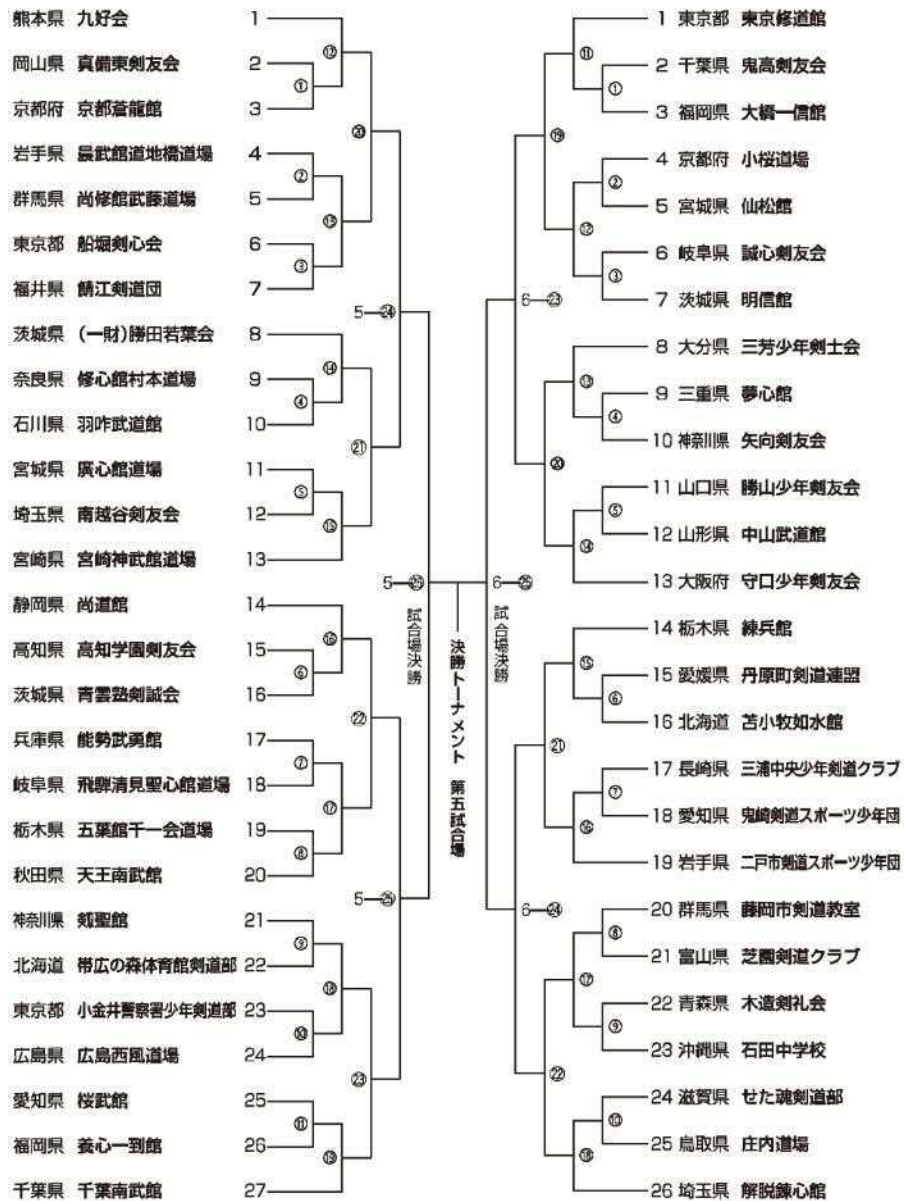
第4 試合場



第5試合場

中学生の部

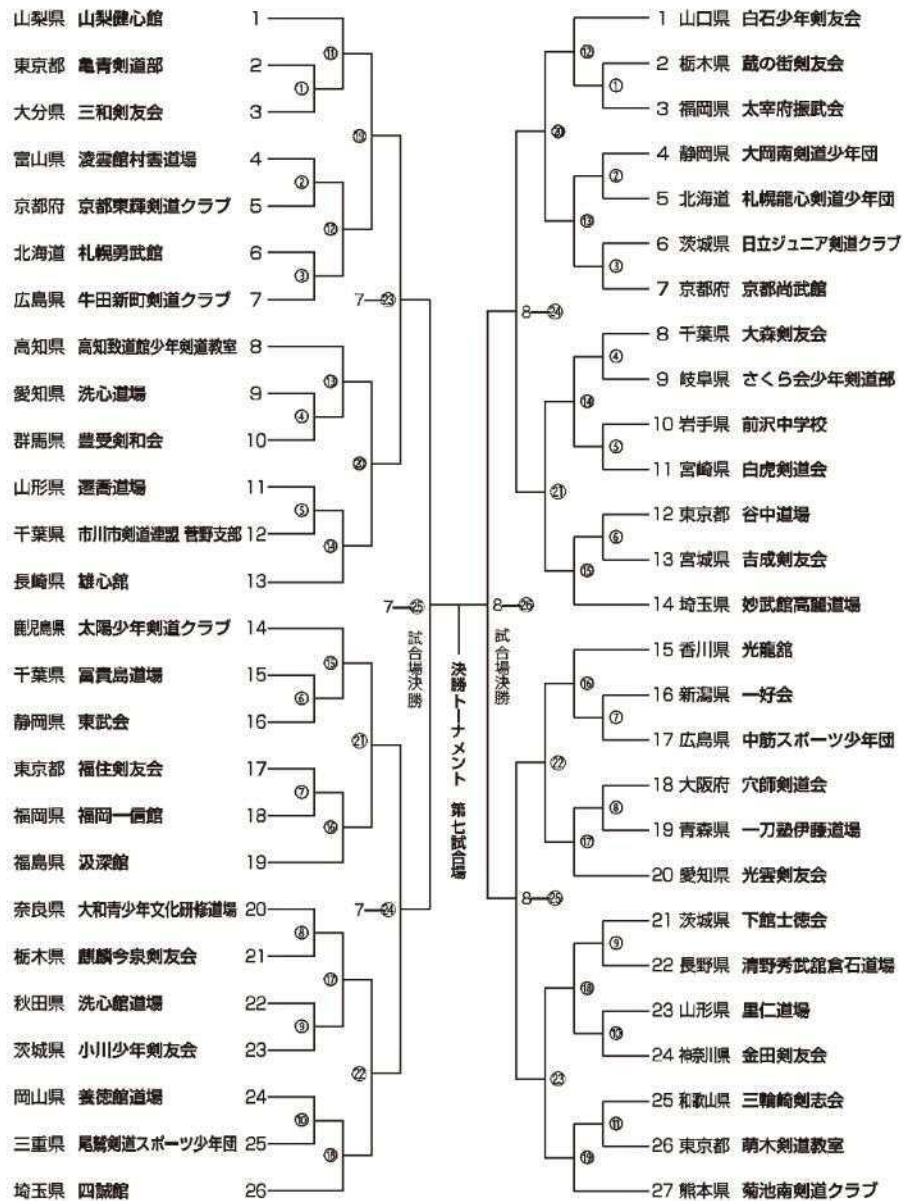
第6試合場



第7試合場

中学生の部

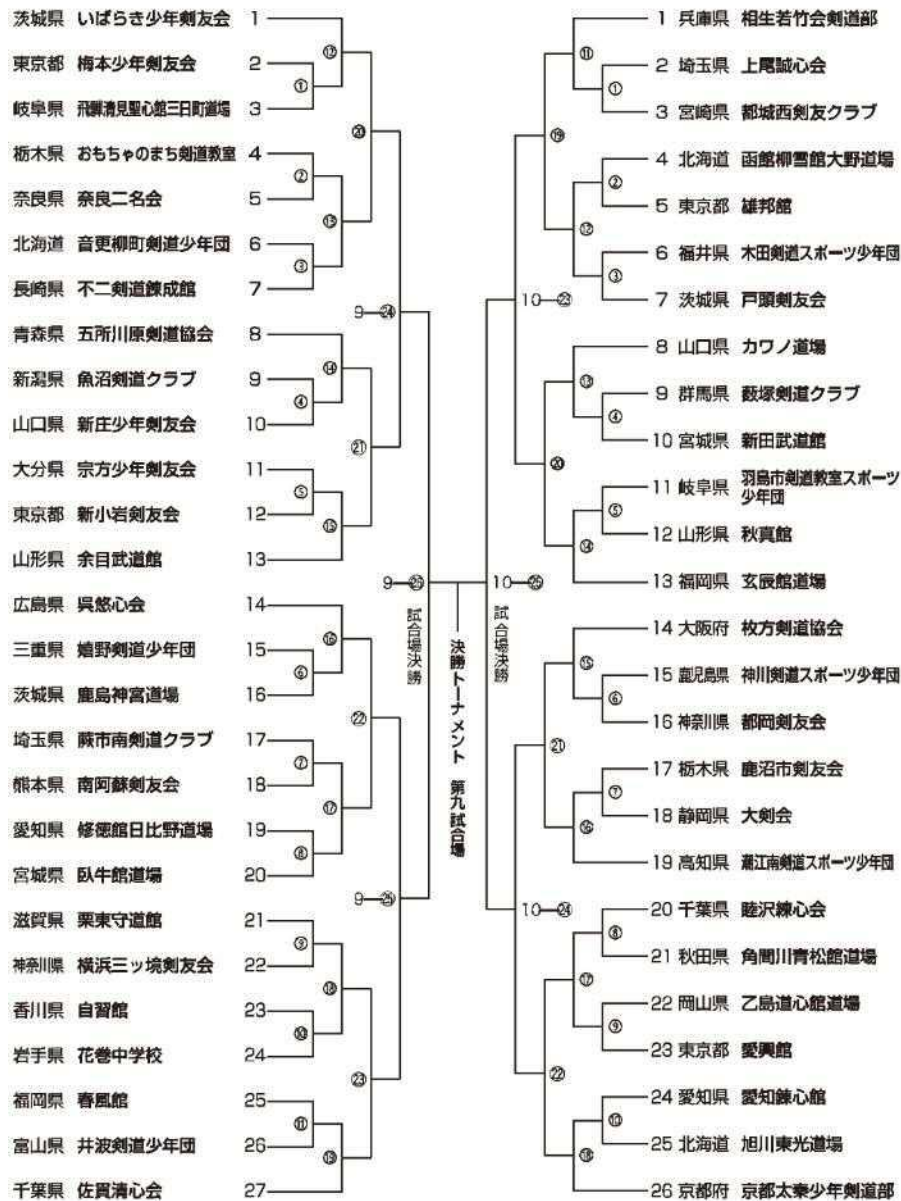
第8試合場



第9試合場

中学生の部

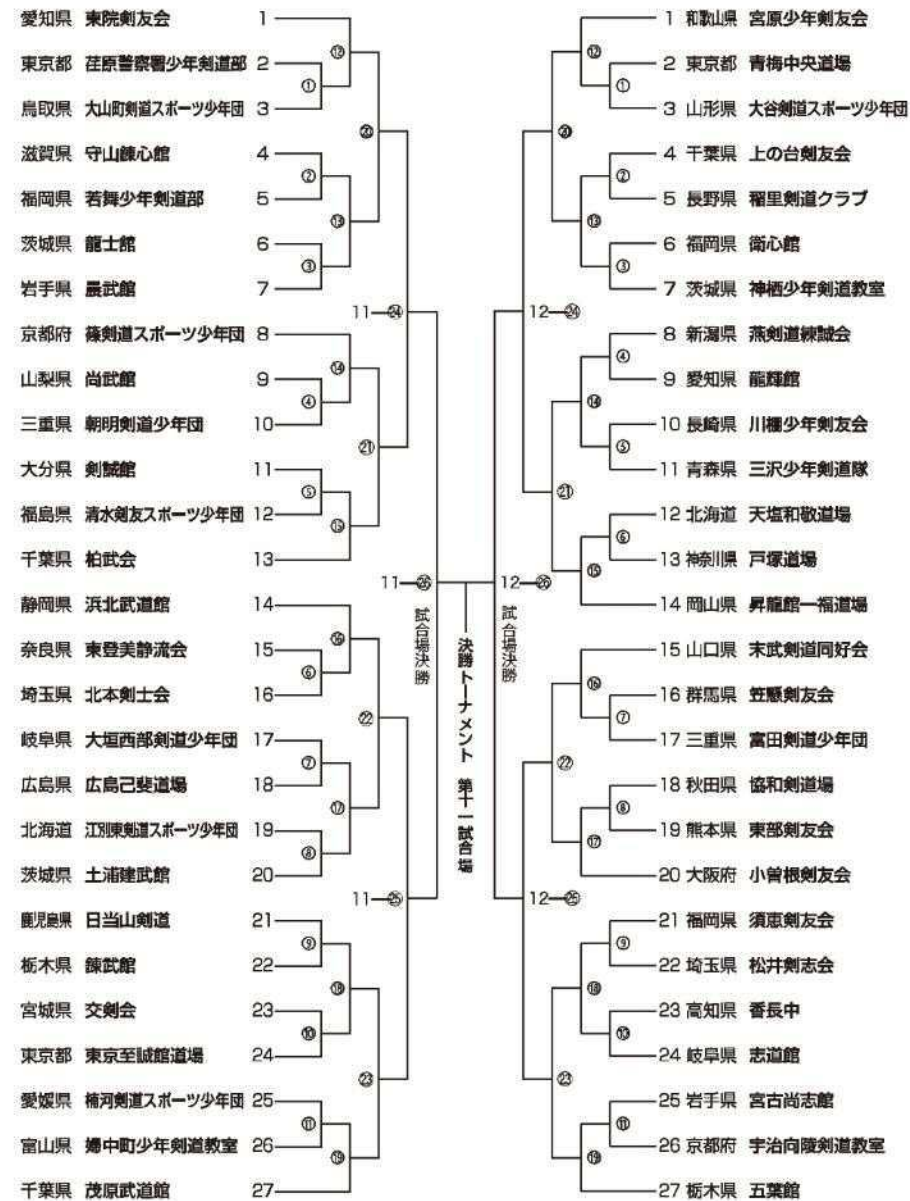
第10試合場



第11試合場

中学生の部

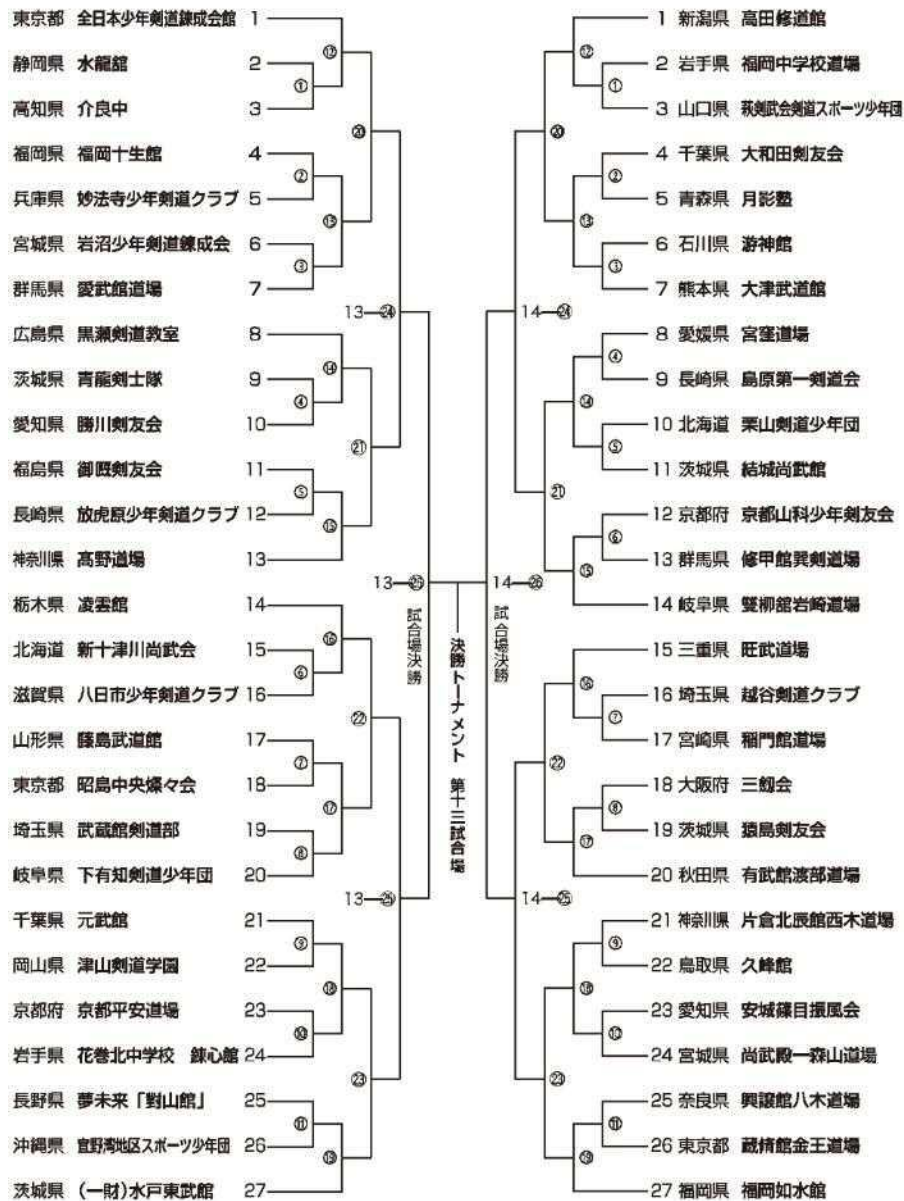
第12試合場



第13 試合場

中学生の部

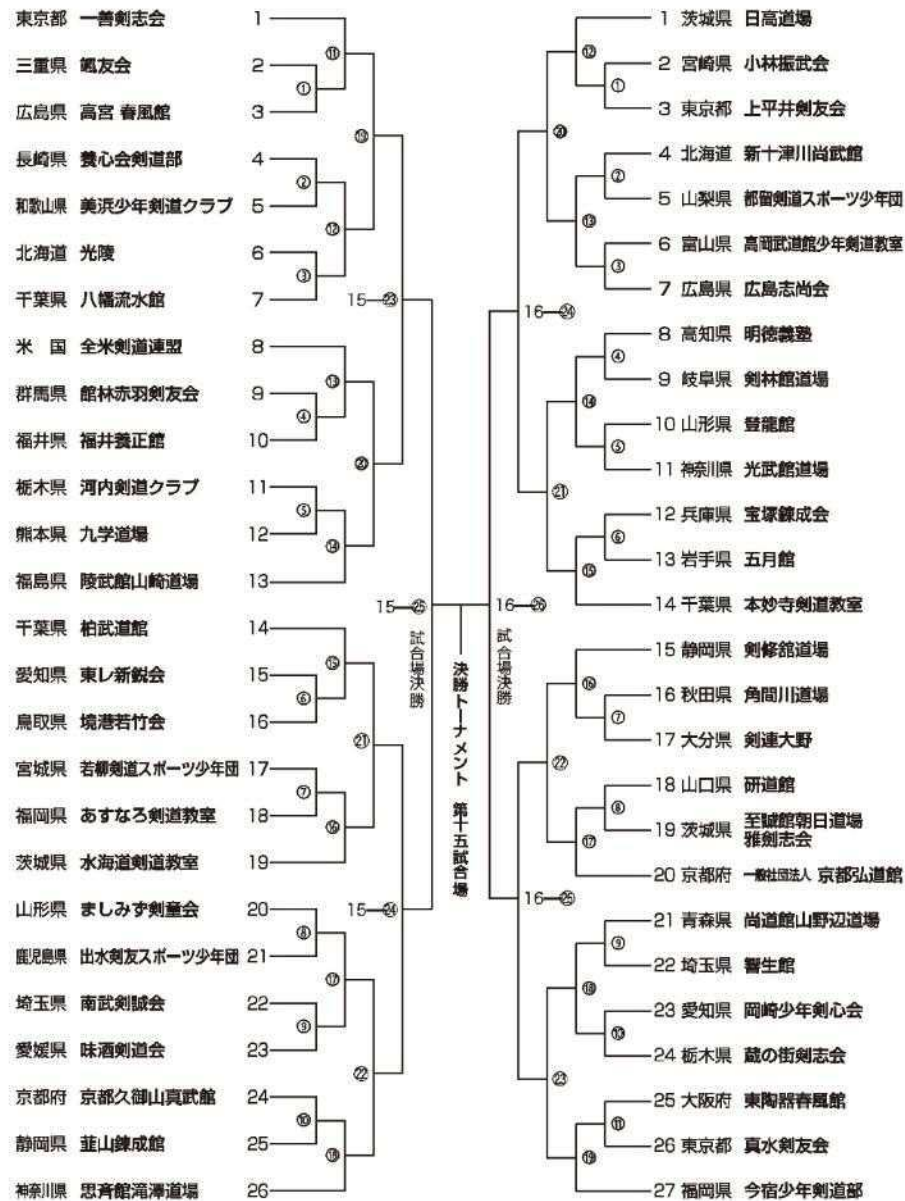
第14 試合場



第15 試合場

中学生の部

第16 試合場



全国道場少年剣道大会(全日本少年剣道錬成大会)のあゆみ

第1回全日本少年剣道錬成大会(昭和41年7月31日)は、大塚勇次初代会長を始め、当時の役員一同の多大なる努力により、幾多の困難を乗り越え盛大に開催するに至りました。

大塚初代会長はご自身の剣道生命をこの大会の開催にかけられ、時の佐藤榮作総理大臣に体当たりで面談、「次代を担う少年の指導は、我が民族の生みの親、育ての親は、武道にあり、その表裏は剣道です」と陳情し、佐藤総理大臣のご理解をいただきました。本大会の開催に際して、佐藤総理より激励の祝辞を頂くと共に、力強い「魂」の揮毫を頂戴いたしました。開催に向けては幾多の苦難に直面したものの、大塚会長の新道に対するご意志は強く、全国注目の中に正力松太郎武道館初代会長を始め、当時全日本剣道連盟会長であった木村善太郎先生方のご臨席のもと、国民体力づくり事業協議会、日本武道館と三者共催にて開催されました。

記念すべき第1回大会、少年剣士の範たらんと持田盛二範士十段、大塚勇次範士十段の登々の入場は誠に壮観であり、他 録々たる先生方を迎えての模範試合、大塚範士十段に対して小川政之範士九段、紫垣正弘範士八段、小沢武水戸東武館館長、小笠原三郎範士八段、佐々木安夫教士八段のかかり稽古と切り返しの模範演武等が示され、少年少女剣士育成の志のもと、かくして全日本少年剣道錬成大会は盛会にして意義高く誕生いたしました。

年度	団体戦	個人戦	会 長	出 来 事
昭和41年	第1回		大塚 勇次	第1回全日本少年剣道錬成大会の開催。主催：日本武道館、全日本剣道道場連盟、国民体力づくり事業協議会
昭和45年	第5回		大塚 勇次	全日本少年剣道錬成大会 剣道之部 全日本少年剣道錬成大会(主催：日本武道館、主管：全日本剣道道場連盟)として開催。(第5回から第9回まで)ハワイ選手が初参加し、日米紅白対抗試合の公開演武が行われた
昭和50年	第10回		小沢 丘	日本武道館、全日本剣道連盟共催で行われた
昭和51年	第11回	第1回	小沢 丘	カナダ、ブラジル、ハワイ、アメリカ、フランス、スイス、イタリア、スウェーデン、韓国、台湾、シンガポールの参加により国際剣道大会を開催
昭和52年	第12回	第2回	小沢 丘	本大会より、当連盟の主催大会となる。高松宮殿下のご臨席を賜る。海外14カ国から選手が参加。この年より二日間の開催となる
昭和53年	第13回	第3回	小沢 丘	この年より、決勝トーナメントを行う。「真実」日本一を決める大会となった
昭和55年	第15回	第5回	小沢 丘	剣道界の代表的範士の先生方および全日本剣道選手権大会の第1回から第27回までの優勝者、警視庁師範を元立ちに迎え、基本錬成が行われた。
昭和56年	第16回	第6回	小沢 丘	アメリカより日系二世、三世の少年剣士が特別参加
昭和60年	第20回	第10回	小沢 丘	全国大会20回を記念し、文部大臣より剣道道場普及発展に貢献した道場主40名に対し、感謝状が贈られた。また、連続20回、大会に出場した道場には記念品を添え表彰した。基本錬成では八段以上の高段者約60名による少年剣士指導が行われた
昭和62年	第22回	第12回	小沢 丘	中学生の部に外国混成チーム(カナダ、アメリカ、西ドイツ、フランス)が参加、小学生の部に香港東信館道場が特別参加
昭和63年	第23回	第13回	小沢 丘	外国混成チーム、香港チームの特別参加
平成元年	第24回	第14回	松永 光	香港、ハワイチームが三回戦進出(これまで海外チームは一、二回戦敗退であった)

全国道場少年剣道大会(全日本少年剣道錬成大会)のあゆみ

年度	団体戦	個人戦	会 長	出 来 事
平成2年	第25回	第15回	松永 光	25周年を記念し、文部大臣から剣道道場の普及発展に貢献した道場主45名に感謝状が贈られた。またこの年より優勝者に海外派遣の切符が贈られることとなり、小学生の部 香月(鹿児島)、中学生の部 練兵館(栃木)が優勝、台湾に向かった
平成3年	第26回	第16回	松永 光	練兵館、中学生の部 5連覇達成
平成7年	第30回	第20回	松永 光	開催30回を記念し、秋篠宮殿下、同妃殿下のご臨席を賜り、与謝野馨文部大臣他多数の来賓を迎える。大会30回出場(10団体)、これまで貢献のあった団体企業(25団体)を表彰。剣道普及にあられた道場主に対し、文部大臣感謝状が贈られた。文部大臣杯下付。練兵館中学生の部3連覇、小・中同時優勝
平成8年	第31回	第21回	松永 光	橋本龍太郎総理大臣を来賓を迎える。総理自ら剣道具をつけ、昨年小学生の部優勝の栃木県練兵館の剣士に指導稽古を行った。以後、数年に渡りこの指導稽古が続く
平成9年	第32回	第22回	松永 光	中学生個人の部 茨城県いばらき少年剣友会 雨谷武蔵選手、大会初の個人戦連覇
平成11年	第34回	第24回	松永 光	中学生個人の部 岡山県福田道場 勝見健太選手が連覇
平成13年	第36回	第26回	松永 光	練兵館中学生団体の部連覇。通算10回目の優勝
平成17年	第40回	第30回	橋本 龍太郎	第40回を記念し三日間に渡り開催。大会二日目、第30回全日本選抜少年個人錬成大会と共に、各道場から1名ずつ代表選手が出場する第40回記念全日本少年個人錬成大会が行われた
平成19年	第42回	第32回	代行 中村輪治	日タイ修好120周年にともない、タイ・ブーケットより小・中学生が参加
平成20年	第43回	第33回	小坂 憲次	寛仁親王殿下第二女子、瑠子女王殿下のご臨席を賜る(以来、現在まで毎年ご臨席を賜っている)。ブラジルより剣士を招待
平成25年	第48回		小坂 憲次	全国道場少年剣道大会へ名称変更、個人戦、道場対抗同時開催へ移行。中学団体の部東松館道場3連覇、小・中同時優勝
平成27年	第50回		小坂 憲次	第50回記念大会として三日間に亘り開催。小・中学生団体の部と共に、二日目に小中学生、男女計4部門の個人戦(会員各道場2名以内の自由参加)を行い計3614名が集った。初日開会式には瑠子女王殿下、下村博文文部科学大臣(当時)のご臨席を仰ぎ、連続50回出場5団体を表彰、少年剣道普及貢献道場、および貢献団体に感謝状を贈った。二日目開会式には再度瑠子女王殿下のご臨席を賜り、高市早苗総務大臣もお越し頂き盛大に執り行われた
平成28年	第51回		小坂 憲次	全米剣道連盟選出による中学生代表チームを招聘、その他、台湾からの参加を得て開催。小学生の部で昭島中央剣友会が、中学生の部で東松館道場がそれぞれ連覇を果たした。



第35回

全国道場対抗剣道大会 全国道場少年剣道選手権大会

(第42回小・中学生男子の部)

(第35回小・中学生女子の部)



復興 みやぎ

開催場所：カメイアリーナ仙台（仙台市体育館）

開催日時：平成29年10月8日（日）午前9時

伊達政宗公生誕450年

主催：一般財団法人 全日本剣道道場連盟

主管：宮城県剣道道場連盟

後援：スポーツ庁・日本財団・全日本剣道連盟・宮城県剣道連盟

宮城県・宮城県教育委員会・宮城県体育協会・仙台市

河北新報社 TBC東北放送 仙台放送 ミヤギテレビ

KHB東日本放送 NHK仙台放送局

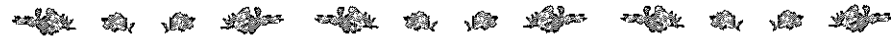
協力：スポーツコミッションせんだい



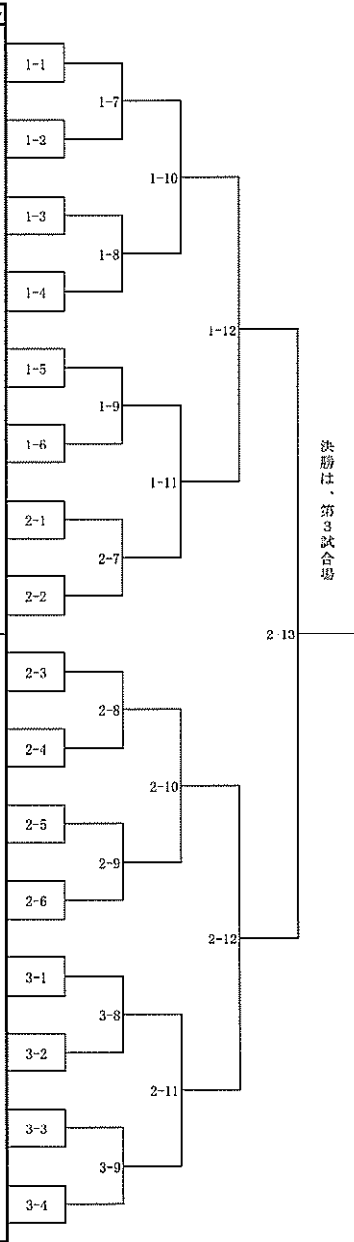
Supported by

THE NIPPON
FOUNDATION

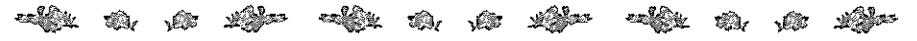
小学生男子個人試合組み合わせ表



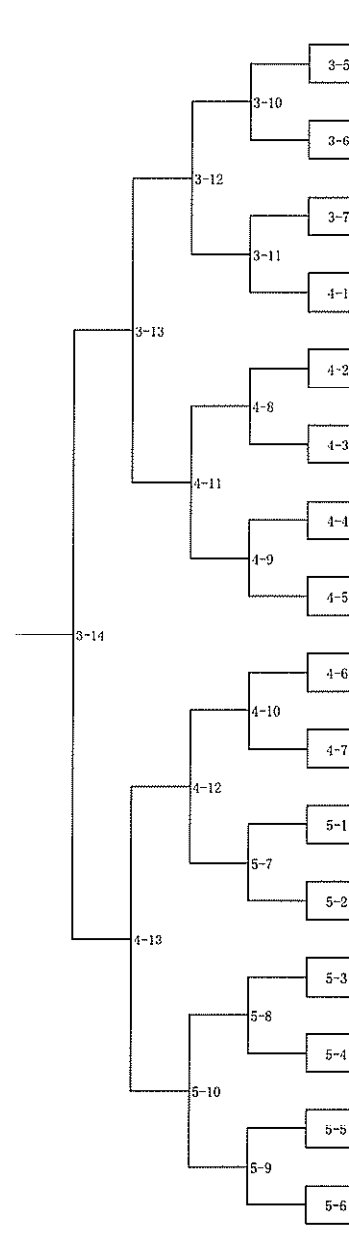
試合場	番号	支部名	道場(団体)名	学年	氏名	ブロック
第1試合場	1	埼玉県	桶川剣友会	6年	高橋 幹	A ブロック
	2	北海道	猿払剣道スポーツ少年団	6年	濱田 大佑	
	3	山形県	中山武道館	6年	奥山 周生	
	4	愛媛県	成武館	6年	佐伯 涼太郎	
	5	宮城県	岩沼少年剣道錬成会	6年	菊池 健太	
	6	香川県	光龍館	6年	山内 斐唯	
	7	栃木県	剣心会	6年	上田 悠空	
	8	愛知県	愛知 洗心道場	5年	石原 稜最	
	9	東京都	昭島中央剣友会	6年	阿部 暁	
	10	秋田県	雄信館内山道場	6年	小松 凜	
	11	山口県	熊毛武心館	6年	浅谷 康太	
	12	大分県	別保剣友会	6年	小嶋 紘太郎	
第2試合場	13	京都府	一般社団法人 京都弘道館	6年	石附 茂	B ブロック
	14	千葉県	鬼高剣友会	6年	石井 智也	
	15	岐阜県	一剣	5年	石井 孝介	
	16	沖縄県	琉武館嘉手納少年剣道クラブ	6年	竹下 琉太	
	17	熊本県	順道館	6年	山下 貴薫	
	18	奈良県	鴻ノ池道場	6年	小角 輝樹	
	19	島根県	法吉少年剣道会	6年	福岡 圭介	
	20	東京都	東松館道場	6年	橋本 岳門	
	21	大阪府	小曾根剣友会	6年	新口 海翔	
	22	広島県	牛田新町剣道クラブ	6年	竹内 遥人	
	23	佐賀県	上峰少年剣道クラブ	5年	弓 翔太	
	24	岩手県	北上警察署剣道スポーツ少年団さくら部	6年	田口 泰輝	
第3試合場	25	福岡県	須恵剣友会	5年	関 慶太郎	C ブロック
	26	青森県	尚道館 山野辺道場	6年	山田 昂毅	
	27	福島県	汲深館	5年	田山 柊晴	
	28	兵庫県	播磨町少年剣道クラブ	6年	永山 晋波	
	29	神奈川県	都岡剣友会	6年	石田 健真	
	30	鹿児島県	志布志武道館	6年	横 峯 心	
	31	茨城県	下館士徳会	6年	吉崎 聖治	
	32	高知県	春龍会	6年	宇賀 大翔	



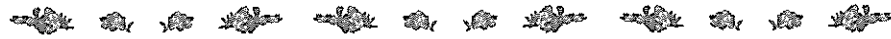
小学生男子個人試合組み合わせ表



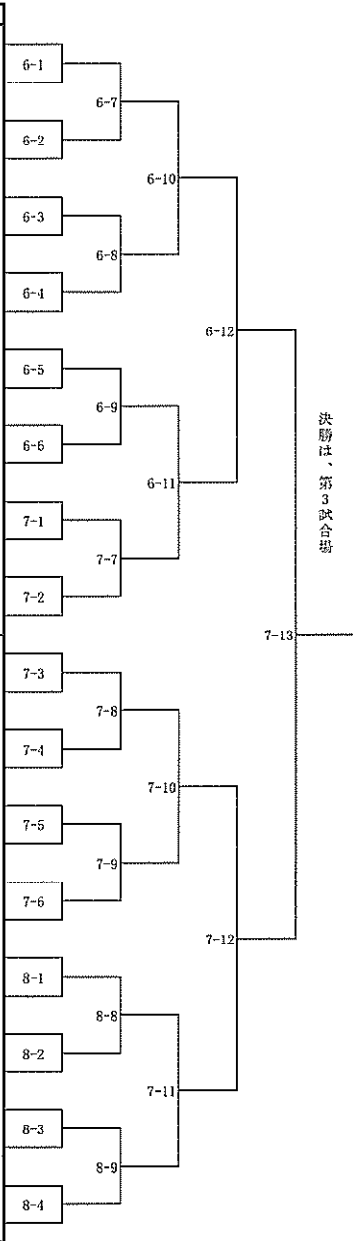
試合場	番号	支部名	道場(団体)名	学年	氏名	ブロック
第3試合場	33	佐賀県	清流館	5年	古川 雄大	D ブロック
	34	千葉県	上の台剣友会	6年	津茂谷 悠吾	
	35	北海道	苫小牧如水館	6年	小林 勇心	
	36	長野県	清野秀武館倉石道場	6年	林 慶慈	
	37	宮崎県	宮崎 佐藤道場	6年	細川 遥雅	
	38	富山県	凌雲館村雲道場	6年	大野 和	
	39	埼玉県	新狭山剣志会	6年	岡崎 陽輝	
	40	愛知県	千代が丘剣道教室	6年	木股 稜太	
	41	群馬県	高崎剣道教室	6年	吉田 佳樹	
	42	新潟県	共栄館道場	6年	宮田 禄郎	
	43	山形県	余目化成道場	6年	佐藤 利輝	
	44	栃木県	おもちゃのまち剣道教室	6年	田上 一步	
第4試合場	45	茨城県	鹿島神宮道場	6年	堀米 真矢	E ブロック
	46	京都府	京都常磐野少年剣道部	6年	若林 亮汰	
	47	熊本県	天明剣道クラブ	6年	村上 康哉	
	48	岡山県	五徳剣志館	6年	酒井 大翔	
	49	神奈川県	川崎御幸剣友会	6年	外崎 心人	
	50	三重県	白剣会	6年	戸嶋 健成	
	51	和歌山県	広川少年剣道教室	6年	川口 裕誠	
	52	山梨県	山梨健心館	5年	依田 丞史	
	53	宮城県	一心堂剣道	6年	戸田 翔海	
	54	東京都	萌木剣道教室	6年	藤岡 春河	
	55	長崎県	黒髪少年剣道育成会	6年	戸田 優人	
	56	福井県	鯖江剣道団	6年	森 陽輝	
第5試合場	57	石川県	新化館	6年	志礼 海龍	F ブロック
	58	福岡県	福岡如水館	6年	秋月 寿理	
	59	鳥取県	庄内道場	6年	黒木 脩太	
	60	滋賀県	彦根城南剣道部	6年	行田 莊太郎	
	61	茨城県	水海道剣道教室	6年	川上 優輝	
	62	岐阜県	梧道館後藤道場	6年	後藤 迅	
	63	静岡県	尚道館	5年	鈴木 篤	
	64	秋田県	秋水館鎌田道場	6年	小野 寺平良	



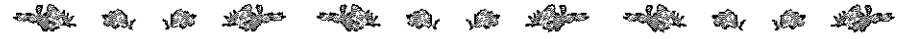
小学生女子個人試合組み合わせ表



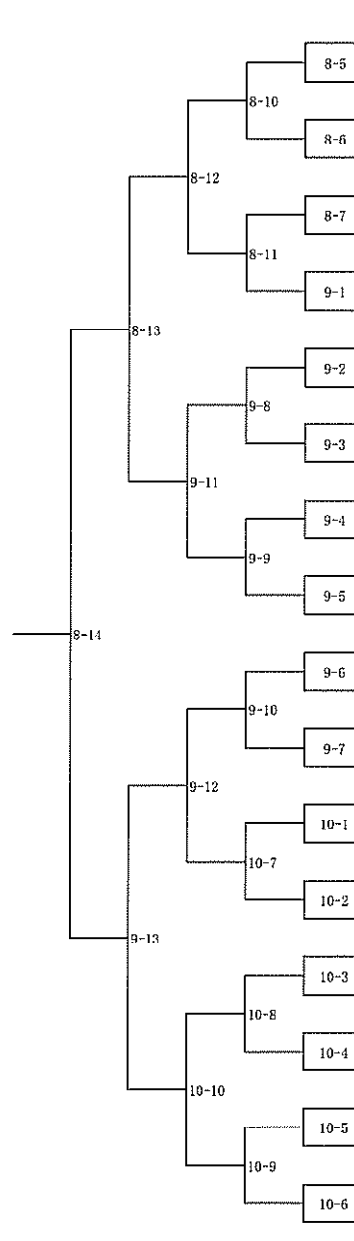
試合場	番号	支部名	道場(団体)名	学年	氏名	ブロック
第6試合場	1	愛知県	東レ居敬堂	6年	平山こはる	A ブロック
	2	山形県	神子免館道場	5年	阿部 寧 桜	
	3	宮崎県	富崎神武館道場	6年	佐々木 愛 桜	
	4	福井県	福井今立道場	5年	山田 優 生	
	5	千葉県	中西養心館	6年	横山 莉 央	
	6	鹿児島県	志布志武道館	6年	八代 ひなた	
	7	福岡県	大野北剣道スポーツ少年団	6年	香野 伶 奈	
	8	岐阜県	誠心剣友会	5年	鈴木 遥	
	9	北海道	森町剣友会	6年	清水 凛々愛	
	10	秋田県	秋水館 鎌田道場	6年	宇佐見 千 紜	
	11	大阪府	小曾根剣友会	6年	門田 理 佳	
	12	埼玉県	四誠館	5年	中嶋カオル	
第7試合場	13	東京都	矢口剣志会	6年	時 任 心	B ブロック
	14	青森県	南部少年剣士隊	5年	山田那々良	
	15	高知県	野市町スポーツ少年団剣道部	6年	尾原 安 美	
	16	福島県	御厩剣友会	6年	五十嵐 和 奏	
	17	沖縄県	沖縄警察署スポーツ少年団	6年	下里まひろ	
	18	宮城県	廣心館道場	6年	高橋 伊 咲	
	19	石川県	九思剣友会	6年	寺内 菜々香	
	20	栃木県	蔵の街剣志会	6年	星野 愛 羽	
	21	群馬県	愛武館竹澤道場	6年	大駒 素 華	
	22	愛媛県	久枝剣道会	6年	後藤 未 海	
	23	和歌山県	広川少年剣道教室	5年	大江 若 葉	
	24	熊本県	菊池 白龍館	6年	後藤 楓 花	
第8試合場	25	静岡県	富岳館道場	6年	遠藤 実	C ブロック
	26	京都府	京都太秦少年剣道部	6年	松木 捺 葉	
	27	岩手県	晨武館	6年	伊藤 愛 菜	
	28	茨城県	青雲塾剣誠会	6年	久保 谷 凛	
	29	長野県	稲里剣道クラブ	5年	越山 恵	
	30	東京都	誠心剣友会	6年	伊賀 小 姫	
	31	佐賀県	神崎町少年剣道クラブ	6年	糸山 陽 香	
	32	神奈川県	都岡剣友会	6年	北条 心 寧	



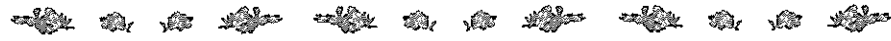
小学生女子個人試合組み合わせ表



試合場	番号	支部名	道場(団体)名	学年	氏名	ブロック
第8試合場	33	山梨県	羽黒剣友会	6年	守屋 那 南	D ブロック
	34	長崎県	橘道場	6年	寺川 舞	
	35	愛知県	愛知 洗心道場	4年	小林 心 乃	
	36	宮城県	岩沼少年剣道錬成会	6年	齋藤 あかり	
	37	山口県	和光剣心塾	6年	嶋内 さおり	
	38	埼玉県	武蔵館	5年	松井 望 心	
	39	奈良県	奈良講武会	6年	伴 きらら	
	40	北海道	森町剣誠会	5年	伊端 紀 良 良	
	41	山形県	山形東部道場	6年	大森 あみ	
	42	茨城県	結城尚武館	6年	穴戸 つぶら	
	43	新潟県	仁智館道場	4年	佐藤 愛 海	
	44	滋賀県	せた魂剣道部	6年	荒井 兼 有	
第9試合場	45	栃木県	養心館	6年	石島 蒼 依	E ブロック
	46	広島県	広島西風道場	5年	福岡 さくら	
	47	神奈川県	修道館青木道場	6年	谷口 小 雪	
	48	京都府	京都久御山真武館	6年	今村 真 穂	
	49	東京都	雄邦館	6年	島村 咲 愛	
	50	秋田県	修武館	6年	高橋 秋 羽	
	51	千葉県	周南剣道スポーツ少年団	5年	新納 里 彩	
	52	熊本県	相良少年剣友会	6年	西 希 月	
	53	兵庫県	照道館樋ノ口少年剣道会	6年	安井 優 果	
	54	福岡県	大野中央剣道スポーツ少年団	6年	川添 凜	
	55	三重県	旺武道場	5年	濱崎 理 子	
	56	鳥取県	境港松濤館	6年	角田 雪 来	
第10試合場	57	富山県	凌雲館村雲道場	6年	奥村 彩 桜	F ブロック
	58	岡山県	真備東剣友会	6年	藤田 なな	
	59	茨城県	芳明館	5年	矢口 怜 良	
	60	大分県	杵築少年剣道部	6年	堀 遥 菜	
	61	島根県	石見恒心会	6年	鶴原 みゆ	
	62	岐阜県	緑苑剣道少年団	6年	各務 心 乃	
	63	佐賀県	清流館	5年	楡 橋 優 那	
	64	香川県	十河剣友会	5年	坂口 明日 香	

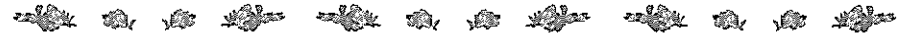


中学生男子個人試合組み合わせ表



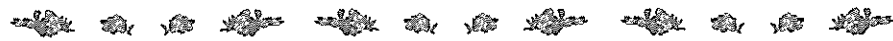
試合場	番号	支部名	道場(団体)名	学年	氏名	ブロック
第6試合場	1	埼玉県	蕨市南剣道クラブ	3年	山本 蓮典	A ブロック
	2	沖縄県	石田中学校	3年	富良 陸樹	
	3	富山県	凌雲館村霞道場	3年	金崎 楓馬	
	4	香川県	光龍館	2年	吉倉 百汰	
	5	福井県	福井養正館	2年	奥村 龍也	
	6	群馬県	尚修館武藤道場	3年	上原 鉄平	
	7	滋賀県	滋賀仁勇館道場	3年	吉田 一帆	
	8	福岡県	福岡如水館	3年	小呷 直	
	9	静岡県	尚道館	3年	鈴木 寛	
	10	奈良県	奈良心剣道場	3年	栗原 蒼空	
	11	東京都	新小岩剣友会	3年	三ヶ島 響	
	12	宮崎県	宮崎 佐藤道場	3年	井本 李玖	
第7試合場	13	山梨県	山梨健心館	3年	藤田 光希	B ブロック
	14	大阪府	小曾根剣友会	3年	小西 純二朗	
	15	秋田県	土崎道場	3年	石井 歩希	
	16	千葉県	柏武道館	3年	西原 圭一郎	
	17	兵庫県	新富剣志館	3年	田邊 悠樹	
	18	東京都	東松館道場	3年	大平 翔斗	
	19	山形県	ましみず剣道会	3年	石川 椋也	
	20	神奈川県	直信館和泉道場	3年	堀越 丈司	
	21	長崎県	黒髪少年剣道育成会	3年	西村 晃征	
	22	京都府	低修館剣友クラブ	3年	井上 慶之	
	23	愛知県	愛知 洗心道場	3年	高橋 慎之祐	
	24	北海道	光陵	3年	杉山 怜	
第8試合場	25	茨城県	日立ジュニア剣道クラブ	3年	高橋 靖登	C ブロック
	26	佐賀県	大和中学校	3年	山口 混矢	
	27	岐阜県	雙柳館 浅川道場	3年	中島 章太郎	
	28	栃木県	鹿沼市剣友会	3年	牛久 学叶	
	29	新潟県	頸城大澄少年剣道部	2年	長谷川 大雅	
	30	熊本県	九好会	3年	荒木 京介	
	31	和歌山県	和歌山砂山少年剣友会	3年	森谷 理史	
	32	宮城県	三獅剣友会	3年	佐藤 磨耶	

中学生男子個人試合組み合わせ表

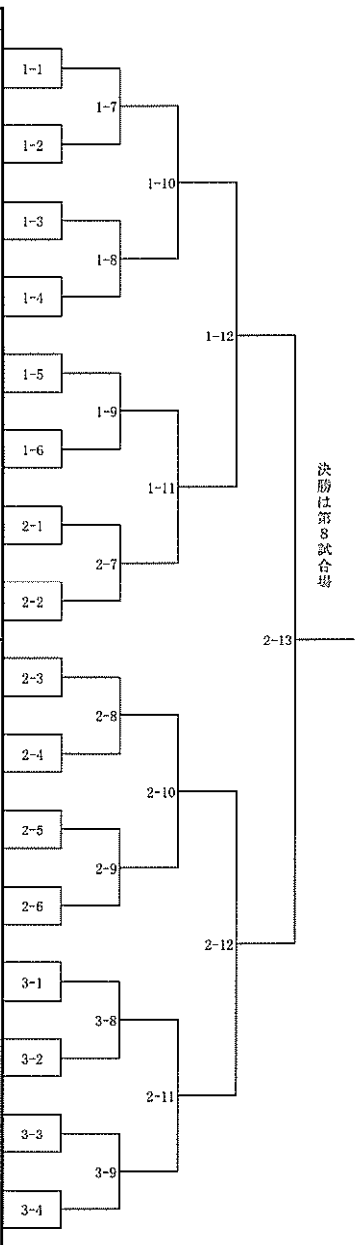


試合場	番号	支部名	道場(団体)名	学年	氏名	ブロック
第8試合場	33	広島県	牛田新町剣道クラブ	3年	横山 進	A ブロック
	34	大分県	天心塾	3年	戸高 明日翔	
	35	茨城県	いばらき少年剣友会	3年	林 龍次郎	
	36	岩手県	福岡中学校道場	2年	井橋 祐弥	
	37	三重県	姫野剣道少年団	3年	尾上 周翼	
	38	埼玉県	剣道 緑ノ風	3年	安村 謙佑	
	39	秋田県	秋水館 鎌田道場	3年	丸野 内悠	
	40	福島県	陵武館山崎道場	3年	阿部 凜生	
	41	岡山県	昇龍館一福道場	3年	赤星 海斗	
	42	京都府	一般社団法人 京都弘道館	3年	川口 舜	
	43	岐阜県	桔梗館多治見道場	3年	若尾 康太	
	44	愛媛県	味酒剣道会	3年	樋口 暁	
第9試合場	45	鹿児島県	神川剣道スポーツ少年団	3年	苜 蒲佳登	B ブロック
	46	長野県	稲里剣道クラブ	3年	小口 晴矢	
	47	北海道	平取義経剣心会	3年	小山 和馬	
	48	栃木県	為岡館道場	3年	宇賀 伸直也	
	49	島根県	塩冶剣道スポーツ少年団	3年	森山 颯志	
	50	東京都	東松館道場	3年	吉田 優真	
	51	石川県	新化館	3年	中村 太希	
	52	山形県	登龍館	3年	入君 遥人	
	53	熊本県	九好会	3年	坂本 陸	
	54	千葉県	上の台剣友会	3年	鈴木 龍哉	
	55	山口県	剣愛会	2年	片岡 聖偉	
	56	佐賀県	龍谷中学校	2年	岩松 弘将	
第10試合場	57	宮城県	若柳剣道スポーツ少年団	3年	佐々木 佳祐	C ブロック
	58	茨城県	いばらき少年剣友会	3年	渡辺 哉斗	
	59	高知県	明德義塾	3年	中平 純介	
	60	福岡県	今宿少年剣道部	2年	小柳 総司	
	61	鳥取県	庄内道場	3年	山田 拓磨	
	62	神奈川県	自強館武道場	3年	滑川 和澄	
	63	愛知県	愛知 洗心道場	3年	吉田 利幸	
	64	青森県	木造剣礼会	3年	江良 武瑠	

中学生女子個人試合組み合わせ表

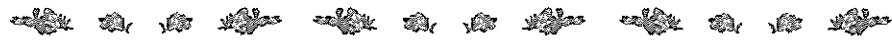


試合場	番号	支部名	道場(団体)名	学年	氏名	ブロック
第1試合場	1	岩手県	花巻中学校	3年	継 枝 愛 美	Aブロック
	2	兵庫県	新宮剣志館	3年	瀬 尾 真 佳	
	3	福岡県	若舞少年剣道部	3年	宮 原 李 沙	
	4	愛知県	知多八幡水鏡会	3年	石 井 涼 葉	
	5	宮城県	尚武殿一森山道場	3年	菅 原 尚 央	
	6	埼玉県	解脱錬心館	3年	大 泉 波 音	
	7	秋田県	雄信館内山道場	3年	高 島 愛 理	
	8	鳥取県	境港若竹会	3年	鈴 木 愛 音	
	9	佐賀県	大和中学校	3年	古 川 寛 華	
	10	栃木県	栃本市中央剣道場	3年	高 木 日 香 留	
	11	富山県	富山武道館	3年	飯 田 珠 羽	
	12	岐阜県	桔梗館多治見道場	3年	道 家 響 生	
第2試合場	13	東京都	西小菅剣友会	2年	園 田 し お ん	Bブロック
	14	長崎県	有明剣道振興会	3年	前 田 菜 那 香	
	15	青森県	五所川原剣道協会	3年	渋 谷 海 羽	
	16	香川県	光龍館	3年	田 中 志 奈	
	17	広島県	戸手剣道教室	3年	田 村 優 夏	
	18	山形県	大谷剣道スポーツ少年団	3年	齋 藤 と も	
	19	滋賀県	八日市少年剣道クラブ	1年	山 田 葵	
	20	石川県	宝達志水町武道館	2年	河 邊 朱 華	
	21	東京都	西小菅剣友会	3年	井 上 ひ かる	
	22	熊本県	相良少年剣友会	3年	倉 田 青 空	
	23	千葉県	上の台剣友会	1年	鈴 木 瞳 美	
	24	鹿児島県	出水剣友スポーツ少年団	2年	猪 原 悠 月	
第3試合場	25	茨城県	結城尚武館	2年	雨 田 美 七 海	Cブロック
	26	大分県	光明館	3年	師 藤 捺々世	
	27	神奈川県	川崎御幸剣友会	3年	垣 井 くるみ	
	28	静岡県	静岡武修館	3年	松 川 美 羽	
	29	山口県	白石少年剣友会	3年	徳 本 菜々美	
	30	北海道	砂川錬心館	3年	岡 嶋 希	
	31	三重県	大谷台剣心会	3年	仲 彩 乃	
	32	京都府	京都 蒼龍館	3年	片 山 真 楓	

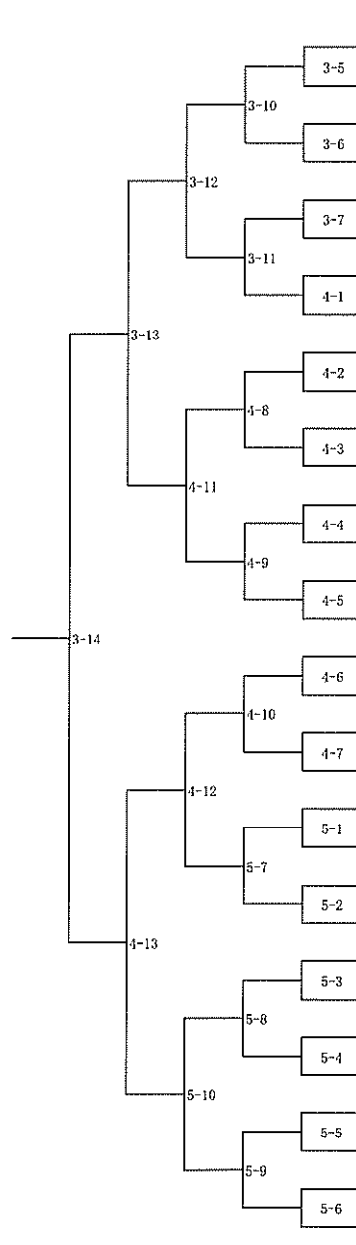


決勝は第8試合場

中学生女子個人試合組み合わせ表



試合場	番号	支部名	道場(団体)名	学年	氏名	ブロック
第3試合場	33	福岡県	福岡如水館	3年	市 川 き ら り	Dブロック
	34	福井県	福井義正館	3年	南 元 優 那	
	35	新潟県	心武館道場	3年	洋 谷 美 桜	
	36	神奈川県	鎌武館	3年	尼 岡 由 衣	
	37	高知県	野市町スポーツ少年団剣道部	3年	中 原 菜 月	
	38	宮崎県	小林振武会	3年	平 川 美 桜	
	39	宮城県	岩沼少年剣道錬成会	3年	鈴 木 碧	
	40	岡山県	真備東剣友会	3年	水 川 晴 奈	
	41	愛媛県	楠河剣道スポーツ少年団	3年	芥 川 愛 梨	
	42	山形県	高島尚武会	3年	大 塚 凜 果	
	43	熊本県	豊武館	3年	林 田 心 愛	
	44	福島県	清水剣友スポーツ少年団	1年	服 部 り る	
第4試合場	45	和歌山県	和歌山砂山少年剣友会	2年	上 山 伽 音	Eブロック
	46	東京都	東松館道場	3年	荒 木 千 遥	
	47	茨城県	至誠館朝日道場雅剣志会	3年	三 輪 絢 子	
	48	北海道	江別東剣道スポーツ少年団	3年	富 田 乙 華	
	49	長野県	清野秀武館倉石道場	1年	北 澤 毬 乃	
	50	茨城県	至誠館朝日道場	3年	神 郡 麻 里	
	51	京都府	京都久御山真武館	3年	今 村 実 聡	
	52	沖縄県	練武館嘉手納少年剣道クラブ	3年	竹 下 思 美	
	53	群馬県	沼田剣桜会道場	3年	大 西 莉 央	
	54	秋田県	松濤館	3年	羽 生 萌 花	
	55	愛知県	知多八幡水鏡会	2年	石 井 桃 花	
	56	千葉県	上の台剣友会	3年	大 西 希 望	
第5試合場	57	埼玉県	越谷剣道クラブ	3年	小 川 真 英	Fブロック
	58	島根県	法吉少年剣道会	3年	宮 前 琴 羽	
	59	佐賀県	大和中学校	3年	立 花 愛 莉	
	60	栃木県	練兵館	3年	藤 田 千 奈	
	61	奈良県	東登美静流会	3年	望 月 奈 都	
	62	岐阜県	緑苑剣道少年団	3年	吉 田 桃 子	
	63	大阪府	都島剣友会	3年	江 島 谷 蘭	
	64	山梨県	山梨健心館	3年	内 藤 葉	



決勝は第8試合場

道場対抗試合組み合わせ表

試合場	番号	道場(団体)名	支部名	ブロック
第1試合場	1	上の台剣友会	千葉県	Aブロック
	2	御殿剣友会	福島県	
	3	久里浜剣士会	神奈川県	
	4	いちこの会剣道道場	宮城県	
	5	野市町スポーツ少年団剣道部	高知県	
	6	砂川錬心館	北海道	
	7	青島剣道スポーツ少年団	静岡県	
第2試合場	8	加美北雄館	宮城県	Aブロック
	9	仁智館道場	新潟県	
	10	山梨健心館	山梨県	
	11	今宿少年剣道部	福岡県	
	12	清心会	岐阜県	
	13	広川少年剣道教室	和歌山県	
	14	岩沼西少年剣道錬成会	宮城県	
第3試合場	15	松崎少年剣友会	山口県	Aブロック
	16	青梅中央道場	東京都	
	17	余目化成道場	山形県	
	18	正心学館道場	宮城県	
	19	四誠館	埼玉県	
	20	相生若竹会剣道部	兵庫県	
	21	いばらき少年剣友会	茨城県	
第4試合場	22	練武館嘉手納少年剣道クラブ	沖縄県	Bブロック
	23	久枝剣道会	愛媛県	
	24	洗心道場	愛知県	
	25	神川剣道スポーツ少年団	鹿児島県	
	26	三沢少年剣道隊	青森県	
	27	愛武館竹澤道場	群馬県	
	28	旺武道場	三重県	
第5試合場	29	あらた道場	宮城県	Bブロック
	30	臥龍徳心館	佐賀県	
	31	秋水館 鎌田道場	秋田県	
	32	陵武館山崎道場	福島県	
	33	青梅錬心館	東京都	
	34	大阪剣武館	大阪府	
	35	吉成剣友会	宮城県	
第6試合場	36	おもちゃのまち剣道教室	栃木県	Bブロック
	37	熊本剣神会	熊本県	
	38	光龍館	香川県	
	39	晨武館	岩手県	
	40	一般社団法人 京都弘道館	京都府	

試合場	番号	道場(団体)名	支部名	ブロック
第1試合場	1-2			Aブロック
	1-5			
	1-3			
	1-1			
	1-7			
	1-4			
	1-6			
第2試合場	2-3			Aブロック
	2-1			
	2-4			
	2-6			
	2-5			
	2-2			
	2-7			
第3試合場	3-2			Aブロック
	3-6			
	3-3			
	3-1			
	3-4			
	3-7			
	3-5			
第4試合場	4-7			Bブロック
	4-3			
	4-6			
	4-4			
	4-2			
	4-8			
	4-5			
第5試合場	5-6			Bブロック
	5-3			
	5-8			
	5-1			
	5-4			
	5-7			
	5-5			
5-2				

試合場	番号	道場(団体)名	支部名	ブロック
第6試合場	6-2			Cブロック
	6-5			
	6-3			
	6-1			
	6-7			
	6-4			
	6-6			
第7試合場	7-3			Cブロック
	7-1			
	7-4			
	7-6			
	7-5			
	7-2			
	7-7			
第8試合場	8-2			Cブロック
	8-6			
	8-3			
	8-1			
	8-4			
	8-7			
	8-5			
第9試合場	9-4			Dブロック
	9-3			
	9-6			
	9-1			
	9-7			
	9-2			
	9-8			
第10試合場	10-6			Dブロック
	10-3			
	10-1			
	10-8			
	10-4			
	10-7			
	10-5			
10-2				

道場対抗試合組み合わせ表

試合場	番号	道場(団体)名	支部名	ブロック
第6試合場	41	福岡如水館	福岡県	Cブロック
	42	凌雲館村霞道場	富山県	
	43	仙台武道館	宮城県	
	44	志道館学園	岐阜県	
	45	和歌山砂川少年剣友会	和歌山県	
	46	雄信館内山道場	秋田県	
	47	日高道場	茨城県	
第7試合場	48	齊年寺道場剣志会	愛知県	Cブロック
	49	森剣友会	宮城県	
	50	大津少年剣道教室	高知県	
	51	清流館	佐賀県	
	52	東根市大富剣道教室	山形県	
	53	尚修館武藤道場	群馬県	
	54	解脱錬心館	埼玉県	
第8試合場	55	岩沼少年剣道錬成会	宮城県	Cブロック
	56	五徳剣志館	岡山県	
	57	伊達綱代道場	北海道	
	58	稲里剣道クラブ	長野県	
	59	茂原武道館	千葉県	
	60	汲深館	福島県	
	61	新化館	石川県	
第9試合場	62	廣心館道場	宮城県	Dブロック
	63	熊本神泉会	熊本県	
	64	芳明館	茨城県	
	65	清水剣友スポーツ少年団	福島県	
	66	古城剣修館	宮城県	
	67	鴻ノ池道場	奈良県	
	68	忌部少年剣道会	島根県	
第10試合場	69	牛田新町剣道クラブ	広島県	Dブロック
	70	錬武館わんぱく塾	栃木県	
	71	月影塾	青森県	
	72	宇治向陵剣道教室	京都府	
	73	光武館道場	神奈川県	
	74	東松島市剣道スポーツ少年団	宮城県	
	75	柏武道館	千葉県	
第10試合場	76	せた魂剣道部	滋賀県	Dブロック
	77	ましみず剣童会	山形県	
	78	東松館道場	東京都	
	79	新明館橋市道場	岩手県	
	80	福井養正館	福井県	

第40回 <体験・実践発表会／書道展> 日本剣道少年団研修会



日時 平成30年2月25日(日)
午前9:45～午後3:00

場所 明治大学駿河台キャンパス
(リバティタワー)

〒101-8301
東京都千代田区神田駿河台1-1
TEL:080-5030-7080 (全道連携帯)

主催

全日本剣道道場連盟
日本剣道少年団指導本部

後援

日本財団・毎日新聞社・剣道時代

第40回日本剣道少年団研修会 (体験・実践 発表)

式次第

1. 開 会 式	9 : 4 5
2. 国 歌 斉 唱		
3. 会 長 挨拶		
4. 審 査 員 紹 介		
5. 審 査 員 長 挨拶		
6. 体 験 ・ 実 践 発表	小学生の部
7. 昼 食		
8. 体 験 ・ 実 践 発表	中学生の部
9. 書 道 展 表 彰 式		
10. 表 彰 式		
11. 講 評		
12. 閉 会 の 辞	1 5 : 0 0
13. 抽 選 会		

抽 選 会

1 等・胴	3組
2 等・ファイテン甲手	1組
3 等・甲手	2組
4 等・竹刀(完成品)	15本
5 等・ペンケース	30本
特別賞・全日本剣道選手権大会 優勝者の色紙	

◎1等・胴3組は全日本武道具協同組合、
◎2等・ファイテン甲手は松興堂、
◎4等・竹刀15本は建武堂、
◎5等・ペンケースはクリタコーポレーションより、それぞれご協力戴きました。

◇◇◇◇ 小学生の部 ◇◇◇◇

発表者氏名 (発表順)

発表順	地区	都道府県	剣道少年団名	氏名	学年
1	東北	福島県	会津白虎剣士会	渡部 敏仁	5年生
	表題		十年後のぼくへ		
2	四国	愛媛県	愛媛建武館	新倉 小夏	6年生
	表題		私の宝物		
3	九州	宮崎県	上長飯剣友クラブ	松道 凜	5年生
	表題		剣道と日々の生活		
4	関東	千葉県	中西養心館	古滝 裕太郎	6年生
	表題		不可能を可能に		
5	近畿	兵庫県	清水谷剣修会	前園 夢巴	6年生
	表題		剣は言葉をこえる		
6	中国	島根県	法吉少年剣道会	藤井 陽花	6年生
	表題		一つ一つの積み重ね		
7	中部	岐阜県	雙柳館 岩崎道場	井上 遼一	6年生
	表題		遼なる剣の道		
8	東京	東京都	東競武道館	伊東 愛結	6年生
	表題		決意		
9	北海道	北海道	真駒内少年剣道会	千田 緯和	5年生
	表題		剣道の心		

◇◇◇◇ 中学生の部 ◇◇◇◇

発表者氏名 (発表順)

発表順	地区	都道府県	剣道少年団名	氏名	学年
1	中国	山口県	美峰剣友会	阿部 日南乃	2年生
	表題		打って反省、打たれて感謝		
2	関東	茨城県	千王町武道振興会	佐藤 亜沙美	2年生
	表題		自分で見つける		
3	四国	高知県	土佐町少年剣道	澤田 陽美	3年生
	表題		父がくれた宝物		
4	東京	東京都	東京樺剣士会	岩邊 安希奈	2年生
	表題		自分を強くさせるのは自分だ		
5	中部	岐阜県	雙柳館 前一色道場	中島 章太郎	3年生
	表題		剣道の教え		
6	近畿	兵庫県	照道館 樋口少年剣道会	辰巳 愛和	3年生
	表題		剣道のすばらしさ		
7	北海道	北海道	真駒内少年剣道会	橋本 陸	2年生
	表題		僕にとっての剣道		
8	東北	宮城県	加美北雄館	石川 陽菜	2年生
	表題		剣道を学び自分を磨く		
9	九州	長崎県	生月剣道スポーツ少年団	榎浦 豪大	2年生
	表題		強くなりたい		

第40回日本剣道少年団研修会 書道展入賞者

第40回日本剣道少年団研修会書道展を実施しましたところ、496道場、3,506点の応募がありました。
ここに、道場主の先生方及び応募の少年剣士少女剣士に心よりお礼申し上げます。

今回の入選者氏名は、当連盟の公式サイトに掲載しております。

<http://www.zendoren.org>

◎部門及び課題作

い	ま
き	な
あ	か
小学2年生以下	

心	部
克	打
己	突
小学3年、4年生	

文	相
伝	対
化	手
統	戦
小学5年、6年生	

止	自
明	百
水	得
鏡	錬
中学生	

◆ 審査員 / 寸評 ◆
那須大卿先生

藍綬褒章受章
日本書城会会長
毎日書道展審査会員
聖徳大学講師
墨隆書道会主宰



Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION



全日本剣道道場連盟 〒143-0011 東京都大田区大森本町1丁目2番8号
TEL:03-5493-7080 <http://zendoren.org/>

第17回

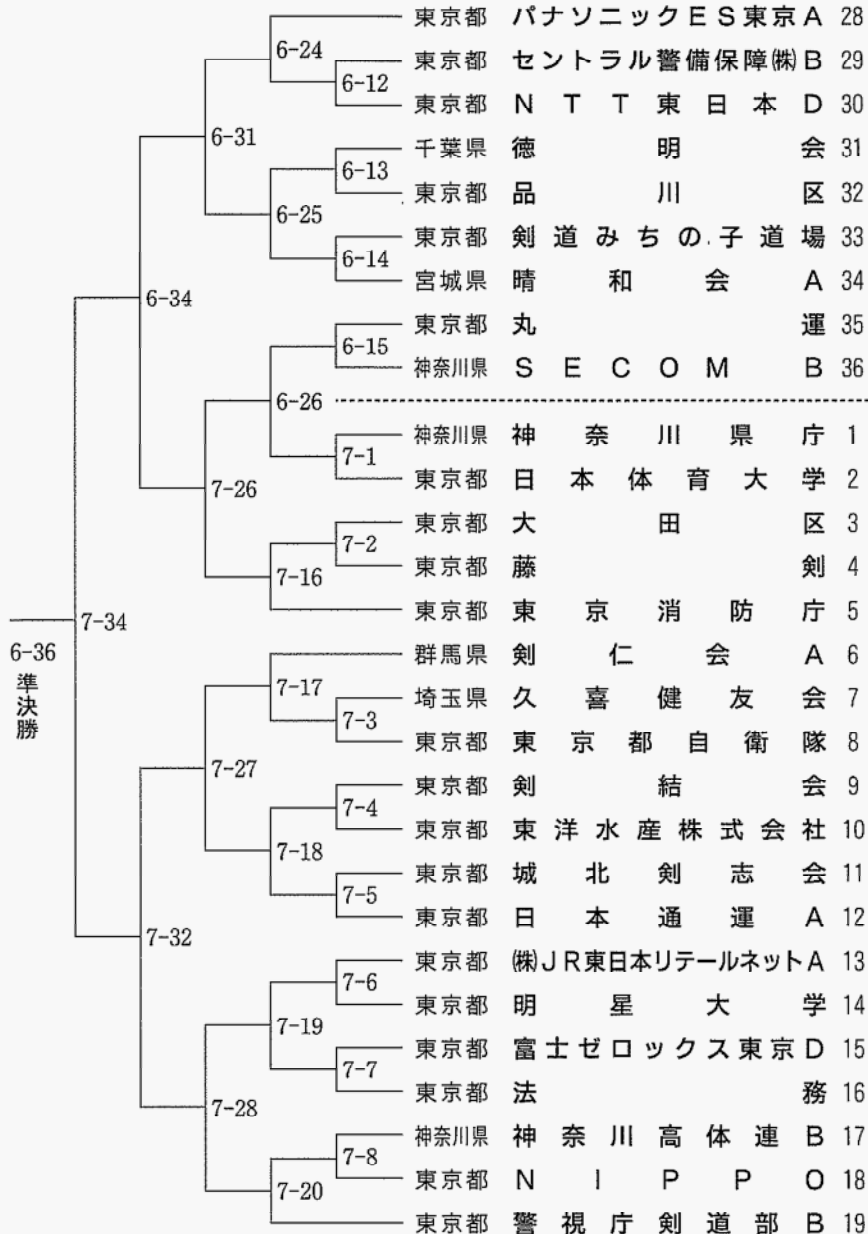
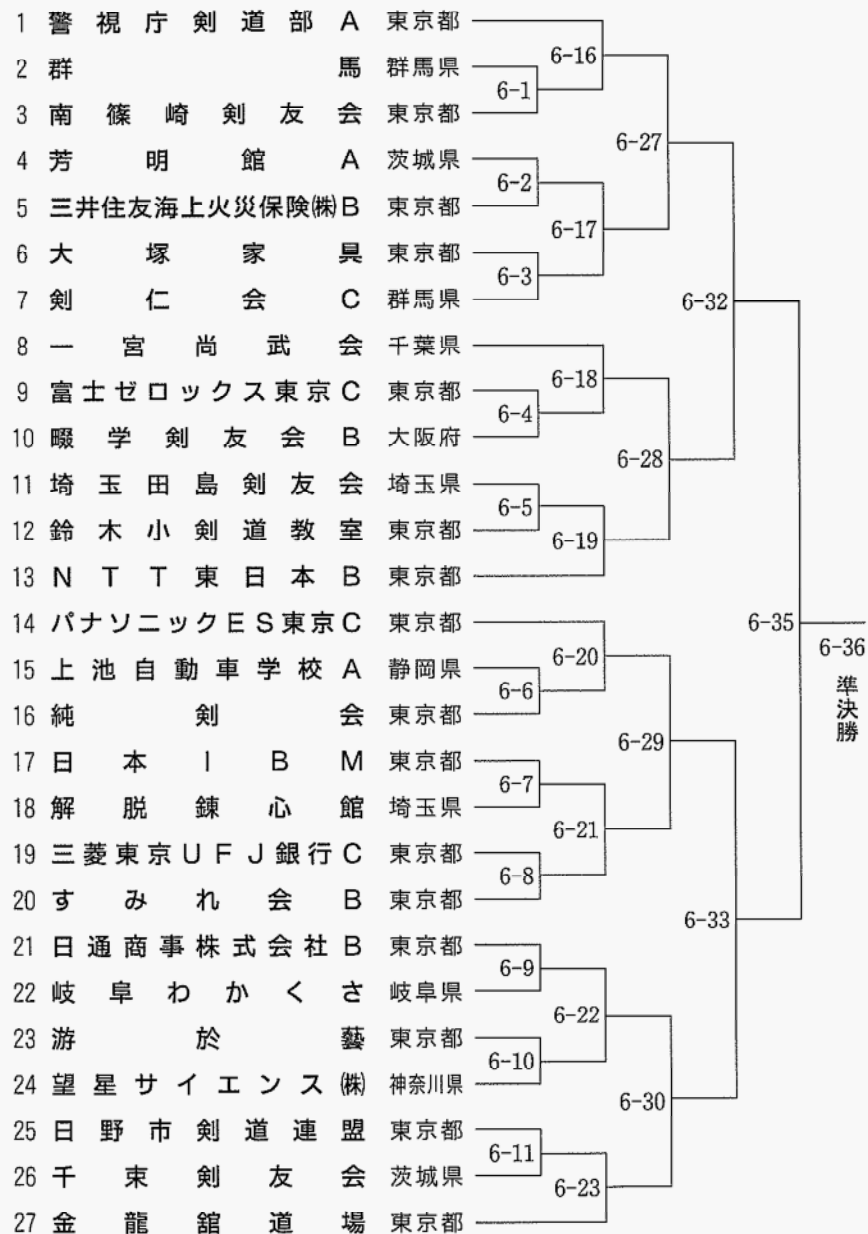
毎日レディース 剣道大会

- 会場** 日野市市民の森ふれあいホール
- 日時** 平成29年12月10日(日)
午前8時30分開場 午前9時40分開会
午後6時終了予定
- 主催** 毎日新聞社・全日本剣道道場連盟
- 後援** 全日本剣道連盟・東京都剣道連盟
日本財団・日野市・日野市剣道連盟
- 協賛** 羽田タートルサービス株式会社

新撰組 in 日野

梅の部 (35歳未満)

第6試合場



第6試合場

第7試合場

梅の部 (35歳未満)

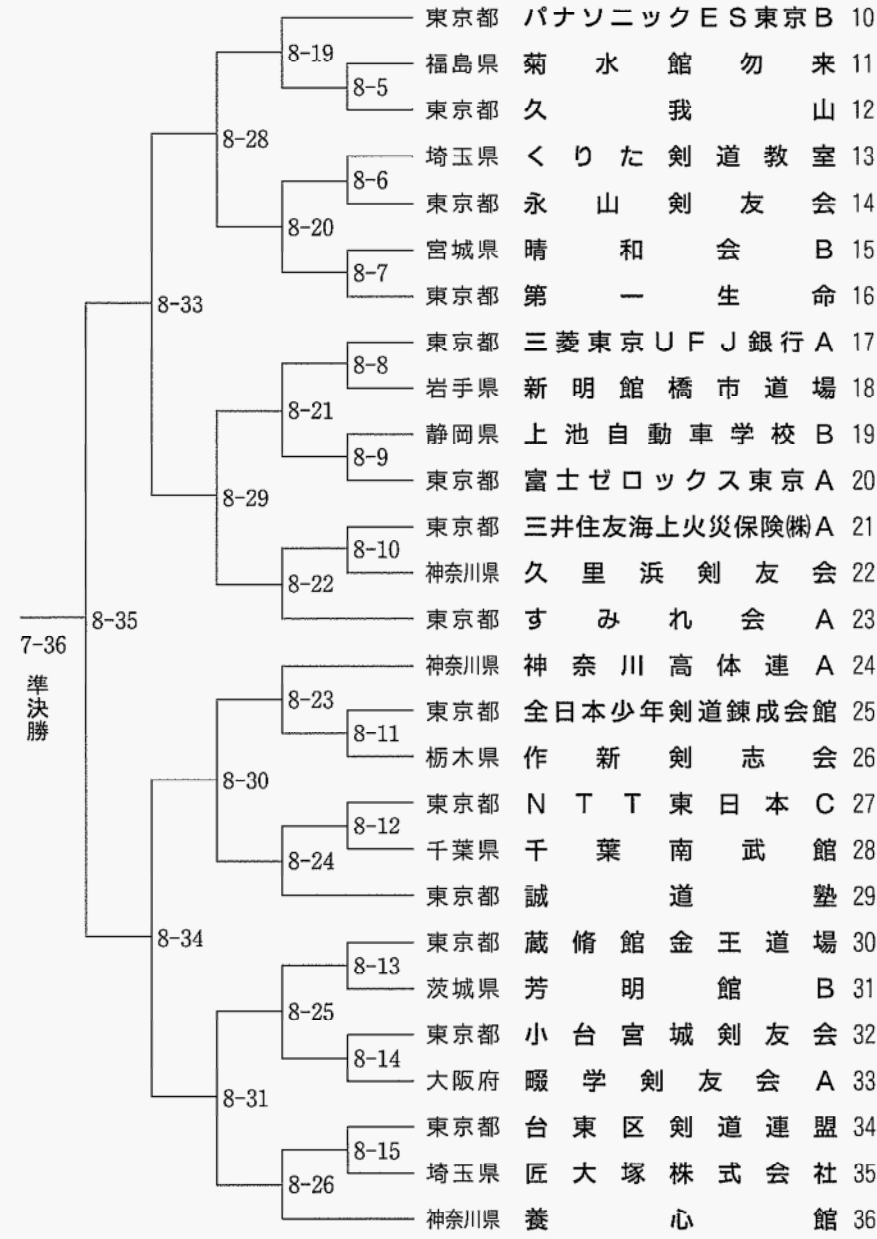
第7試合場



第8試合場

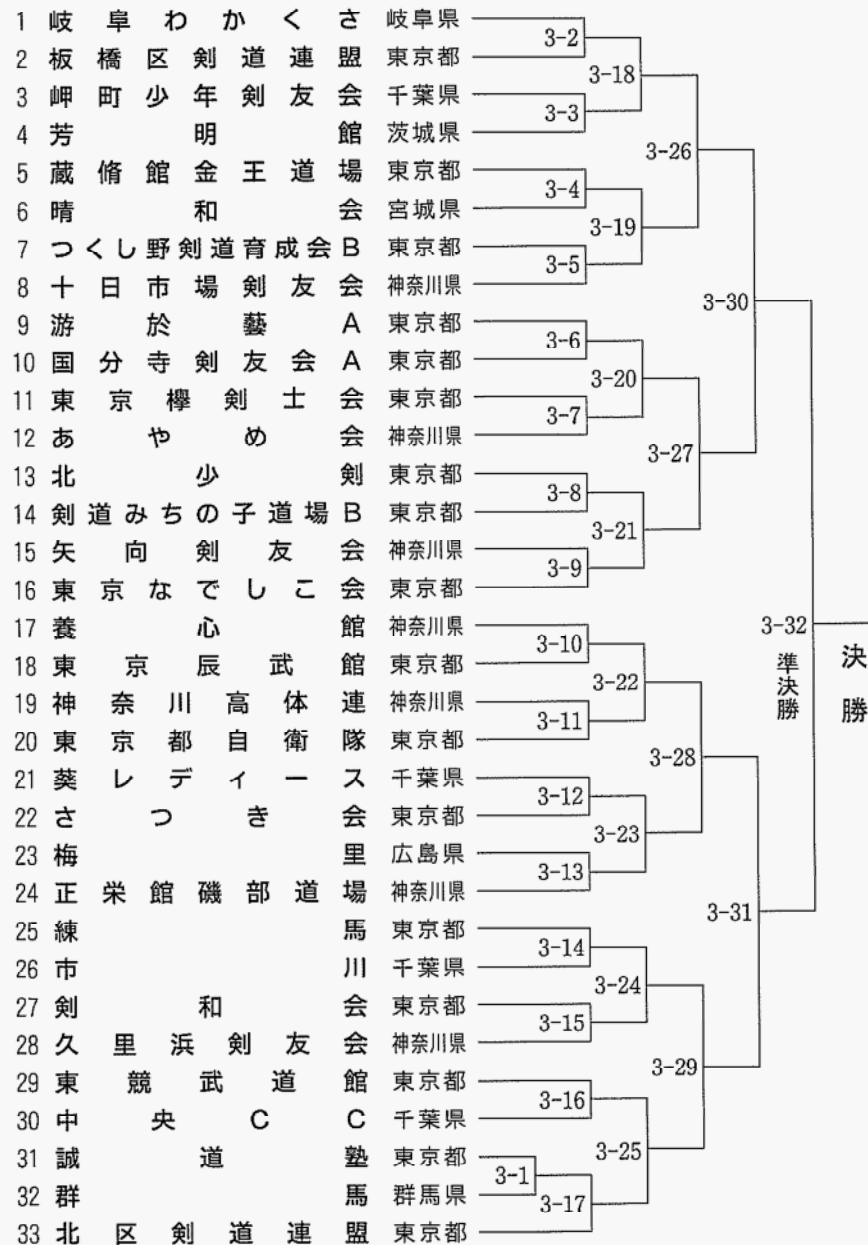


第8試合場

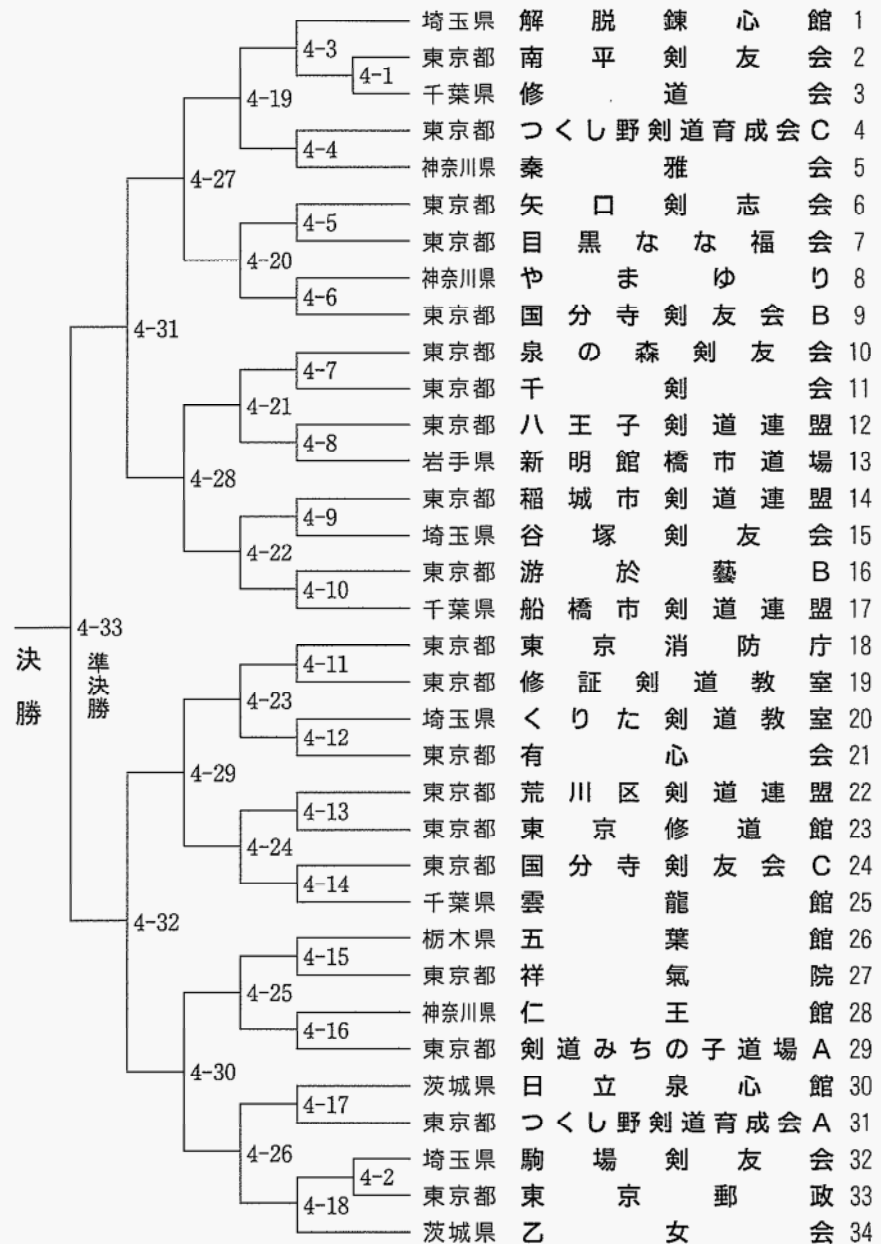


桃の部 (35歳以上50歳未満)

第3試合会場



第4試合会場



桜の部 (50歳以上)

第5試合場

